大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　十二月二十八日

本紙 一部五錢 一ヶ月壹圓五十錢
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇

防共を基底とせば 軍はその行動を支援

逆に容共抗日の政策を容るれば 聲明通り斷乎處置

西安事件落着で

關東軍當局談發表

蔣介石氏南京歸着後の中國の動向に對し深甚なる注意を拂つてゐる關東軍にては二十八日左の如き當局談を發表した

國民政府主席蔣介石氏の監禁を直接動因とする今次中國の内紛事態に就ては軍は四億民衆に對し深く同情を表すると共に中國政府當局者が東洋民族和平康寧の爲斷固として此種事態發生の禍根を一掃せんことを期待するものである

惟ふに今次の事變は端を祖國を賣りて蘇聯に隷從する共産黨の陰謀に發するや毫も疑ふの餘地がない、即ち中國共産黨は容共抗日の强要によりて政府當局を進退兩難に陥れて國家を混亂に導き據て以て彼等の主義貫徹を速かならしむるの計に出でたることは瞭である

這回の事件に於て中國は上下を擧げて憂愁に鎖され財界は恐慌を憂へ大衆戰禍に戰きたるは國民の最も記憶を新にする所なるも容共赤化の豫感を以てして既に斯の如くならば其實施の曉に於ける混亂は誠に思半に過ぐるものがあらう

然るに政府要路者中には今尚國家の興亡國民の休戚を顧みず依然として容共を口にするもののあるのは眞に痛心に堪へない所である、軍は日本武士道の精神に基き友邦の危機を共に憂へ四億民衆の福祉と東洋平和の爲中國軍政界の深厚なる熟慮を促すものである

若し中國政府にして飜然共産黨を粉碎し防共を基底とする國家百年の大計を樹立せんとせば軍は欣んで其行動を支援すべく之に反し共産黨及之が同類と妥協して容共抗日の政策を容るるに於ては軍は過般聲明せる如く滿洲國の自衛延ては東洋全般の平和確保上必要なる處置を講ずるであらう

ソ聯の全支赤化援助 續々事實暴露

軍需品提供も言明

ソ聯邦が支那全土の赤化を目指して着々その魔手を伸ばしつゝあるのは明瞭な事實であるが、今次の内蒙問題に對しても積極的に外蒙軍に働きかけ援助をなしつゝある證左は續々判明しつゝあり、外蒙古ソ聯軍指揮官ヴォスクレセンスキー將軍はさる十一月十日傅作義と會見のためウランバタトルから綏遠に到り、次で學良の招きに應じその乘機にて西安に向つた事實があり、その目的は同將軍は傅作義に對し支那側が内蒙軍擊退のため一戰を決する覺悟あればソ聯はそれに對して充分なる軍需品の準備ある旨言明したと傳へらる

滿洲里會議

年末休暇に入る

【海拉爾國通】滿洲里會議は去る廿三日の第廿一回會合をもつて年末休會に入り滿洲國側代表は廿六日、また外蒙側代表は昨廿七日滿洲里發歸途につきそれぞれ故國において新春を迎へ三ヶ月にわたる會議の疲れを休めた上一月廿五日頃までに再び滿洲里に集合會議を續行することゝなつた

對支經濟提携工作のため 東亞局に一課增設

【東京國通】政府は對支經濟提携工作に當るため外務省東亞局に一課を增設するに決定廿六日課長として井口シカゴ領事の任命を發令した、同課は豫算の關係上名儀は調査部第五課とすることゝなつてゐるが、事實上東亞局に所屬せしめ東亞局長の所管下に置きわが對支經濟工作の參謀本部たらしめる方針である

治法撤廢を前に 信賴愈よ加はる

首都警察本年の全貌（下）

轉じて司法科の事蹟を見るに本年十一月末現在における司法事件中、發生件數八百三十一件に對して檢擧件數七百四十八件を數へ、その比率はまさに九十%と言ふ驚異的な好成績を擧げしかも重大犯罪はこれを餘ますところなく檢擧した、右の内最も重大犯罪として當局を惱まし一世を戰慄せしめた事件は三月二十一日の三十九頭の馬强盜と九月三十日仲秋節の名月下に演ぜられた大馬路の强盜殺人事件を記錄することが出來る

前者は三月二十一日午後十一時三十分ごろ城內東三道街門牌五十一號富海方客馬車屋李錫方へ拳銃三挺所持の十一名組强盜が押入り戰く家人を縛りあげた上馬舍に繫留してゐる馬三十九頭を强奪して悠々二道河子方面に逃走したもので、近郊荒しの匪賊の仕業と睨んだ村上搜査股長以下全搜査班出動、二班に分れてトラックで賊を追跡の結果、松木巡官の率ゐる搜査班は双陽に先廻りする途中、伊通縣で馬二頭を奪還二名を逮捕、爾來芋づる式に殘餘の犯人を逮捕したものである

後者は九月三十日仲秋節の深夜大馬路飲食店鴻發に賊侵入女將李孫氏（四十六）の顏面頭部、其他を菜刀をもつて滅多切りに慘殺の上現金八百圓衣類、貴金屬類合して三千圓を奪つて逃走した殘虐目を覆ふ殺人强盜事件である、當局では兇行用の菜刀二個及び犯人が金品物色の際金櫃に殘した一點の指紋を貴重な物的證據に必死の搜査陣を展開檢擧に努め多數の容疑者を追及するとともに鑑識課では指紋と言ふ指紋の全てを檢鏡對比して見たが該當するものもなく兇惡な右事件はあはや謎の殺人事件として暗に葬られるのではないかと見られたとき五月七日素行不良で同家を解雇された元使用人宗闘警が事件直後吉林に赴いたと言込み聞ふから同人が有力な容疑者として搜査線上に登場した、十日宗は吉林で門脇巡官の手に逮捕されたが嚴重な追及にも拘らず一向自白せず係官を手古摺らし遂に最後の手段として指紋の檢鏡對比の結果果然合致事件以來十日を經過した未曾有の難事件も遂に同廳が誇る化學搜査陣に凱歌が擧り共犯二名も難なく逮捕された

最後に保安科にあつては一月四日民政部令第一號をもつて營業取締規則を公布し二月一日よりこれを施行した、之は從來總て許可制であつた諸營業中から本規則によるもの及營業其他取締範圍の一部を警察取締營業となし其他は總て自由營業とし許可制度を廢止したもので實施後自由營業となつたものは恩惠に浴し取締官廳は少からず事務上の簡捷を得た、營業者は當初規則の遵守に苦しんだが逐日遵奉するに至り警察取締事務も整然として好果を擧げてゐる次に人事相談其他の取扱で人事相談は從來より取扱はれてゐたが何等統制されず、一定の內規すらなく其取扱が區々に亘り殆んど取扱をなさゞるに等しい狀態で人民に及ぼす影響と民衆警察の見地から九月一日附首警保發第七百七十四號を以て取扱範圍方法經過記錄注意事項等を示し取扱を開始したが良好な成績を擧げてゐる、九月十四日火災發生期を控へ一般に防火思想を普及徹底のため新京署、[illegible]警署、特別市公署其他各種參加團體の代表者は同廳會議に集合種々協議して實施方針に關し具體的協議を遂げ二十四日を期して大々的にこれを實施した、保安科では保安警察の確立を期し、治外法權回收に備へるため各署保安主任並に保安科員を日滿系に分ち一回は日系十一名に對し十一月十六日から二十日まで二回は滿系十五名に對し二十三日から二十七日までそれ〴〵保安講習を開催して保安事務の通曉に努力せしめ効果を擧げた殊に同科が重大を置いてゐるのは交通警察の整備强化で去る二日實施した大同大街各官衙百貨店前の交通整理はもとより文化都市としての偉容を保ち、交通事故の減滅を圖る建前から街の交通整理を漸次機械化すべく目下愼重研究中である

昭和十一年の回顧 明年

卅一日は大祓

その意義に就いて

新京神社 植村神官

新京神社では來る三十一日大晦日の午後三時から大祓式を擧行するが大祓の意義について植村神官は左の如く語つた

祓とは總べての滯つてゐる罪穢を祓ひ清める神事であります、現今はこの祓を國家的儀式として毎年六月十二月の晦日に全國の各神社に於て行つてゐますの所謂大祓でありまして、宮中に於かせられましても賢所前庭に各官廳の勅、奏、判任官の各代表者が參集して、この大祓の神事を行はせられるのでありますが、古は國家に大事のある場合には必ず全國的に行はれたのであります

申述べるまでもなく祓は一つの行事でありまして、祓の作法のみで罪穢が除去さるるのではありませんが、この大祓神事とともに自分自身に於ても純潔な反省をなし、誠心誠意を以て神明に誓ひ以て罪穢の除去を工夫するところに大祓の眞の意義が存するのであります換言しますならば大祓の神事を通じて人それ自身の精神に於ても天地に恥ぢない公明正大な崇高なる神境に達し更にその體認した正しく明い淸い直い誠の心を以て各自の本分に從ひ國家的に體現する所に日本人としての面目が躍動するのであります、殊に一層の緊張と眞劍味を要する現社會の客觀的情勢に於きましてこの我が國民性の歷史的必然性に基いた大祓の神事に參列するといふ事は日本人として最も適切有意義なことと信じ敢へて氏子各位の御參列を切望する次第であります

年末年始祭儀

新京神社の年末年始祭儀は左の通り執行される

十二月三十一日午後三時 大祓式
十二月三十一日午後六時 除夜祭
一月一日午前零時 平安祈願祭（ラヂオ放送）
一月一日午前九時 歲旦祭
一月三日午前十時 元始祭

國道局、土木司廢止 土木局を設置

明年より民政部外局として

建國直後における滿洲國は治安維持およびその他の事情のため道路建設事業を最も緊急事とした、しかして政府はこれが要求に應ずるため取敢へず暫行的機關として國道局を設置し、これが實施に當らしめ來つたのであるが、今や治安狀況は著しく改善され、これと共に地方機關も亦漸次整備せらるゝに至り、殊に來年度より第二期建設事業遂行のため治安道路のみならず産業道路の建設にも重點を置かることゝなり、これがためには地方機關との聯繫は絕對不可缺の要件とさるゝに至つたよつて以上の理由により政府は今年限り現在の暫行的道路建設機關たる國道局および民政部土木司を廢止し、之等を統合して新に民政部外局として土木局を設置することゝしこれと併せて中央地方を通じ機構統一を行ひ、土木事業の圓滑なる遂行を期することになつた、なほ來年度より新に省地方費の設定をみることゝなり、これにより各省公署に對し土木行政に關し相當廣範圍の權限と責任とが與へられたので、今回の土木局設置により將來土木工事は最も能率的經濟的に遂行されるであらう

名古屋博に

滿鐵では移民宣傳に主力

滿鐵では來年三月名古屋で開催される汎太平洋平和博覽會の出品物並に紹介方法について社内の移民に關するエキスパートを網羅して近く協議會を開催する事になつた、尙右平和博覽會には關東局及び滿洲國と協力して滿洲特設館を設置し主力を移民の紹介宣傳におく事となり其の外明年度日本各地で開催される博覽會には積極的に移民の宣傳紹介に務める事になつた

獨植民地問題に 英佛共同提案

【パリ廿六日發國通】英佛兩國政府はヒトラー總統のつぎの爆彈的宣言が殖民地要求にあることを豫知機先を制してその要求に應ずべく、目下共同提案につき推敲中と確聞する、英佛兩國政府の對獨共同提案と解されるところはつぎの如くである

一、ドイツ政府がスペイン革命軍に對する軍事的援助を停止すれば英佛兩國政府はその代償としてドイツ政府に天然資源を供給すること

二、集團的安全保障に關する取極めを締結せざること

なほフランス政府がドイツの殖民地要求を考慮してゐることは事實であり、イギリス政府との共同提案あつた場合ドイツ政府が無碍にこれを拒否外交々渉の餘地を封ずるが如き態度には出まいとみられる

パ號救濟に

獨軍艦急行

【ベルリン廿六日發國通】ドイツ政府はパロス號拿捕事件に對し直ちに廿六日救濟方法を斷行するに決定、ドイツ軍艦數隻は廿六日午後全速力で現場に向け急行中と傳へられる、目下スペイン領海にはドイツ軍艦六隻乃至九隻あり、スペイン政府軍艦がパロス號を平穩裡に釋放せぬ限り事態險惡化の虞れがある

獨政府聲明發表

【ベルリン廿六日發國通】ドイツ政府は二十六日午後ドイツ汽船パロス號（九九七噸）拿捕事件に關し次のコンミユニケを發表した

ドイツ汽船パロス號はビルバオ港附近においてスペイ

衆議院各常任委員長決定

【東京國通】衆議院各常任委員會の委員長は廿七日互選の結果左の如く決定した

豫算委員長 小山松壽（民政）
決算委員長 胎中楠右衛門（政友）
請願委員長 中伊佐雄（民政）
懲罰委員長 戸澤民十郎（民政）
建議委員長 飯村五郎（昭和）

全院委員長に 熊谷氏當選

【東京國通】廿七日納めの衆議院本會議は午後一時廿五分開會、岡田副議長より衆議院の勅語奉答文を捧呈致しましたところ重ねて優渥なる勅語を賜はりましたとて滿場總起立裡に勅語を奉讀、ついで全院委員長選擧に入り新議場はじめての堂々廻りとなる、開票の結果、三百四十六票の多數で政友會の熊谷直太氏が當選かくてつぎに建議案委員を設ける件を可決して二時三分休憩、三時五十五分再開、各部で行つた常任委員選擧の結果を報告の後岡田副議長より議員生活卅年におよんだ荒川五郎君（民政）を院議をもつて表彰する件を附議し滿場一致これを決定、副議長は表彰文を朗讀した後滿場の拍手をあびて荒川五郎君登壇、感謝の意を述べついで畔田明君（第二控室）の死去に對し植原悅二郎君（民政）は全議員を代表し弔辭を述べ最後に岡田副議長より議會再會の期日については政府より例年通り一月廿日まで休會するのやむなき旨回答があつた旨報告、四時廿分散會、かくて本年掉尾の議事を終つた

滿鐵辭令

（十二月二十五日）
錦州鐵路局機務處配車科職員 松實不二夫
新京事務局鐵道課勤務を命ず

人事往來

（着京）
▲安藤一郎氏（官吏）二十七日來京ヤマトホテル
▲佐谷台三氏（同）同
▲石村實氏（會社員）同
▲寺本豪一氏（同）同
▲高橋岩太郎氏（同）同
▲大鳥鴻三氏（同）同
▲高田一三氏（商人）同
▲瀧津久米次郎氏（官吏）同蓬萊ホテル
▲横田實氏（土木建築）同富士屋旅館
▲笹川忠雄氏（貿易商）同
▲三原芳男氏（會社員）同滿蒙旅館
▲永井人雄氏（官吏）同
▲關谷宗作氏（同）同
▲加地信氏（醫師）同太陽ホテル
▲淸水淸五郎氏（同）同國際ホテル
▲海江田良信氏（官吏）同
▲岡田董氏（同）同
▲山地高照氏（同）同
▲金澤辰夫氏（同）同
▲三浦義一氏（安東地方法院）同
▲持原勝義氏（滿鐵）同旭ホテル
▲吉富嵐雄氏（請負）同
▲山下茂雄氏（運送業）同
▲早坂三郎氏（官吏）同喜久屋旅館
▲大久保績氏（公吏）同
▲須原義彥氏（建築業）同大和新館
▲中村三朗氏（鐵道總局）同
▲福島秀雄氏（參事官）同
▲靑柳覺四郎氏（滿鐵）同吉田屋旅館
▲德宿太重氏（牧師）同
▲伊藤卓郎氏（敎員）同
▲香川義思氏（商人）同向陽ホテル
▲石田喜一郎氏（商人）同國都ホテル
▲三箇功氏（官吏）同
▲辻周一氏（材木商）同
▲河野苦夫氏（榊谷組）同

（出發）
▲安川正彥氏 二十七日奉天へ
▲大坪保雄氏 同
▲田所哲太郎氏 同
▲石田英氏 同
▲實吉吉郎氏 同
▲中川正氏 同
▲池原義見氏 同吉林へ
▲秋田豐作氏 同
▲別府大氏 同ハルビンへ
▲下田勝久氏 同大連へ
▲藤倉岩海氏 同奉天へ
▲高橋一年氏 同ハルビンへ
▲森春雄氏 同
▲淸水英雄氏 同
▲吉良修氏 同東京へ
▲木下秀敎氏 同吉林へ
▲今吉均氏 同黑河へ
▲鈴木正二氏 同奉天へ
▲宮川角次氏 同
▲山下龍平氏 同
▲富田直次氏 同安東へ
▲鈴木勇氏 同
▲河村武秀氏 同ハルビンへ
▲大塚讓平氏 同
▲中西正雄氏 同吉林へ
▲塚原喜助氏 同ハルビンへ
▲近藤續行氏 同奉天へ
▲渡邊飛雄氏 同
▲四本直孝氏 同
▲金子政英氏 同
▲市川軍氏 同大連へ
▲本田卓正氏 同錦縣へ
▲藤武久男氏 同ハルビンへ
▲桑山長一氏 同吉林へ
▲安岡要太郎氏 同
▲金村純松氏 同
▲高橋達三氏 同ハルビンへ
▲竹中錢三氏 同
▲今城說次氏 同大連へ
▲佐藤正三氏 同
▲野村虎雄氏 同奉天へ
▲黑田源次氏 同
▲城富次氏 同東京へ
▲關口藤吉氏 同淸津へ
▲江副熙一氏 同撫順へ
▲杉崎實氏 同奉天へ

その日〳〵

□ 道はどうやらロンドンに通じてゐるらしい、學良の場合のことである

□ 大局に立つて支那に敎へやうとする在滿軍當局の見解、この際亙さく響くもの！

□ 事態の一段落は、まだ前途の明朗を約束しない、南京城下の多風寒くはないか

□ スペインなほ兩軍猛鬪してゐると傳ふ、牛が勢ひづく年はあと數日だが

□ 各官廳御用納め、新しい一年の計を今からしても早過ぎることはない！

御皇妹五格姫　けふ晴の御婚儀

幾千代かけて契らせ給ふ

御皇妹五格姫と萬嘉熙中尉との晴れの御婚儀は二十八日の佳日午前十一時から日滿軍人會館に於てとり行はさせられた、この日薄桃色の御洋裝も氣高い御新婦五格姫にはベールを深々と召され、近侍の人達の御介添にて六色のリボンに飾られた歡迎車に御乘車、聿修園を御出門、出迎への新郎萬嘉熙中尉は凛々しい國軍正裝にて御新婦を御案內しつゝ午前十時五十五分式場に御到着、板垣中將、佐々木軍政部顧問始め、關東軍、軍政部、宮內府關係者多數御出迎へ申上げ、直ちに別室に御休憩の後同十一時二階儐間式場に於て板垣中將御媒酌、佐々木少將、吉岡中佐、二格姫、四格姫その他列席の下にいと嚴肅なる式典を擧げさせられた、この時皇帝陛下御名代金智元氏は皇帝敕諭を捧持していと莊重に捧讀され終つて新郎新婦は御互にエンゲーヂリングを御交換、幾千代かけての御契りは固く結ばれてこゝに目出度く御式典を終了した、かくて新夫妻は列席者一同の歡呼を浴びつゝ式場退出、同道にて皇帝陛下に御禮言上のため十一時四十分會館を出發參內した尚引續き午後四時から同會館に於いて盛大なる披露宴が擧行された（寫眞は式場にて拜寫）

つたが新京からの參加者は左の四名であつた
兵頭忠四郎氏、川村達郎氏
和田德三郎氏、見木物一氏
なほ北平天津方面ゆき視察團の參加者は新京から一名もなかつた

朱乙行　更に締切り延期

電々會社主催、電々型受信機の正月朱乙行團體は當籤者も決定し一般の參加者を加へ約百名の一行はいよ〳〵來る三十一日夜九時十分新京を出發北鮮朱乙溫泉向けて樂しい旅だちをするが、同社ではこの行を一層賑やかに意義づけるため締切り期日を來る二十九日まで延期、一般希望者の參加を受附けることになつた新春の瑞氣輝く靜な山嶺の靈泉に積つた舊年の垢を流し、疲れた魂を醫すに絕好の機會であらう、會費は大人四十圓子供は半額、正月三日までの滯在期間中には種々の[illegible]朗らかな溫泉の夜を[illegible]になつてゐる、希望[illegible]にならぬうら南廣場電[illegible]理局まで申込まれ度い

奥さん後藤やいさん（三十）"假名"は二十七日午後四時頃夫君のあたゝかい月給袋を握つてニツケギヤラリーに出掛けあれやこれやと買物をして明倫街方面に行かんと康德會館前から馬車に乘り日頃愛翫の何處へでもお供する犬に風を引かしてはとしつかり抱きしめて愛撫しながら明倫街に着いてハツと氣がついた時はあとの祭り八十餘圓在中の月給袋を入れた茶色のハンドバツクを何時の間にか落しており眞靑になつて領警署へ屆け出た

賓宴樓と宴賓樓　商號角突き合ひ

城內に新にデビューする　商賣も同じ支那料理

"賓宴樓と宴賓樓"成程これはうつかりすると間違ひ安い商號だ、こゝに商號上の興味深い話題が

一般 に提供されることゝなる、と言ふのはその設備において賓宴樓を凌ぐとも決して劣らないハルビン隨一支那料理店"宴賓樓"が新京にまで營業の手をのばし城內に堂々たる支店を造るべく先般首都警察廳に營業許可申請書を提出、早くも開業準備中と知つた賓宴樓ではその發音と言ひ、字句と言ひ余りにおとなりに近いこの商號に果して大恐慌を感じ顧問辯護士某氏を介して首都警察廳にその商號の變改方を考慮してほしいと願ひ出たもの、宴會其他で邦人間にも仲々名の知れた賓宴樓のこの問題に對する言ひ分と言ふのは本店は過去三十三年の舊い歷史を有する料理店で今こんなまぎらはしい商號の料理店の出現は單に營業上の問題ばかりでなく、郵便の誤配は勿論のこと賓宴樓と指定された宴會の場合、お客さんの方で宴賓樓と混同され易くそこに面白からぬ種々の弊害が伴ふのは當然だといふのだ

同問題は首都警察廳においても愼重な

態度 で臨むが解決を見ない場合は最高法院にまで進み司法問題として取扱はれる筈

狂躁以上、殺氣立つ　市井"法"の總決算

目の廻る忙しさ！代書、法律事務所

昭和十一年もあと四日に押詰り暮の街は一年の總決算に東奔西走の人々によつて慌しい狂躁曲を續けてゐるが、本年中の債務取立、貸借決濟に最後的手段たる內容證明、差押へ手續も亦こゝ三四日の中に急激に增加、市內二十數軒の法律事務所と十九の代書は目の廻る樣な忙しさだ、七、八ケ月の家賃滯納に最後的結末をつけんとする家主さん、賣掛代金の不拂に業を煮やして內容證明を叩きつけようとする街の實業家、貸金の利子放任に斷乎たる處置に出でんとする高利貸等々、法に依つて一年の總決濟をつけようとする人々は朝早くから顧問格の法律事務所や代書に押しかけて最後の智慧を絞つてゐる、取らんとする者拔けんとする者は年の瀨の氣忙しさを通り越して殺氣立つた光景を描いてゐる

歲末輸送陣　もう一奮發

滿鐵のサービス

滿鐵では年末旅客輸送圓滑を圖るため既報の通り安奉線に臨時列車を運行し、ひかりには客車を增結運行してゐるが更に二十九日、三十日には左の通りハルビン大連間、新京大連間上下旅客列車に三等車をそれ〴〵增始運行する即ち

△上り

イ、ハルビン發大連ゆき急行（新京午後八時五十分發）三等二輛
ロ、同（新京午後十一時發）三等一輛
ハ、新京發大連ゆきはと（午前九時發）三等三輛
ニ、新京發大連ゆき普通（新京午後三時四十分發）三等三輛
ホ、奉天發大連ゆき（新京發午後二時四十分）三等二輛

△下り

イ、大連發新京着普通（新京午後三時三十分着）二等車一輛
ロ、大連發新京着急行はと（新京午後七時四十五分着）三等車三輛
ハ、大連發新京着急行（新京午前七時十分着）三等車四輛
ニ、同（新京午前六時着）三等車一輛
ホ、同普通（新京午後二時着）三等車二輛
ヘ、同（新京午前七時着）三等車二輛、二等車一輛

滿洲の溫泉　全部滿員

二十九日―一月四日

滿洲の各溫泉街もお正月には湯治客が多く熊岳城、湯崗子五龍背各溫泉の旅館は二十九日、三十日から一月四日までいづれも豫約濟み、滿員になつてゐる

民政部の勳章授與式

民政部に於ては二十六日午前十時半より三浦碌郎氏以下三千九百六名に對する勳章授與式を擧行、大津總務司長、大島警務司長より夫れ〴〵受與された、なほ右の中吉林省公署關係六百三十二名、哈爾賓

首都警察傳達式

警察廳關係の千三百六名は總務司恩賞係員之を捧持した

首都警察廳では二十八日午前九時三十分から同廳講堂において滿洲事變に於ける功勞者元警察總隊長坂田徹次氏以下廳員百八十八名に對する勳章の傳達式を擧行、金總監の手から各人に傳達されたが終了後御用納に際し金總監、連副總監より一場の訓示があつた

兩署行賞傳達

新京署、領警署關係の滿洲事變功勞賞第二回傳達式は二十八日午前十時より新京署講堂に於て擧行され左の通り猪苗代署長より傳達された

旭八賜金一封巡捕　季秀芝
瑞八　同　同　石天
同　同　同　田寶
同　同　同　張光宗
同　同　同　岳保清
賜金一封王寶　外三十名

引續き巡捕季秀芝外五名に對する滿洲國建國功勞章の傳達式が擧行された

元旦の國旗掲揚式

星野廳長講演

新京敎化聯盟主催恒例國恩感謝國旗掲揚式は一月一日午前八時から新京神社境內で擧行される、當日は滿洲國總務廳長星野直樹氏の講話もあり全市民の參加を希望すると

日系官吏　軍司令官に挨拶

滿洲國政府では軍司令官に對する年末挨拶のため日系薦任官以上が廿八日午後三時三十分より軍司令部講堂に參集、星野總務廳長よりの代表挨拶に植田軍司令官より訓示があつた

新京署御用納め

新京署では領警署と合同二十八日午前九時全署員講堂に集合、猪苗代署長の"一年間を顧みて"と題し昭和十一年は各係とも相當多事な年であつたが重大な事件もつつがなく處理し得たことは署員の努力の賜物と感謝すると同時に同慶に堪えない、今後も一層奮勵を望む旨訓辭あり、御用納めを行つたが一月一日は午前九時半より元旦拜賀式を擧行する、なほ昭和十一年一月一日からは現在と同じ數字の時間に依つて執務する

あと三日！

押すな〳〵の雜沓　市場頓に活潑

日に七千圓の揚り

いよ〳〵押迫つた歲末、お正月はお所台からといふわけで、その大元締新京市場會社の今日此の頃は文字通り芋の子を洗ふ樣な大繁忙である、二十一日から開始された商店街の食料雜貨大賣出しに引きつれて、正月用品の入荷はボツ〳〵活潑になつてきたが、本格的に旺盛さをみせてきたのは二十四日からである、平日は魚菜合せて四千貫から五千貫、金額にして四千圓前後の品物が市中に捌けてゐるが、現在では一躍七千貫から八千貫、上り金額も六千圓から七千圓に達してゐる、御市場は三十日一杯で閉場になるが、あとどれだけ躍進するか見物だ、昨年は三十日一日だけで約九千圓餘の取引があつたが、今年は一般が落着いてゐるから一寸危ぶまれてゐる、その代り品物値段は大して騰つてはゐない、魚ではカジキ、マグロ鯛等刺身用のものが少し値を張つてゐるが他は入荷の激增で平日よりも安くなつてゐるものもある、野菜は一般に多季が高いのは例年通りである

▽……竣工した五十嵐ビル

「安くて便利」が第一　馬車屋成算あり

武藤組合長、幹事會で語る

豆タクの出現、タクシー會社の創立、メーター制の採用のため今後の營業成績を注視されてゐる首都乘用馬車人力車營業組合では去る廿五日午後一時から中央飯店樓上に於て監督官廳係官臨席、各關係者卅八名出席の上本年最後の委員、幹事合同會議を開催、先づ部組合長の開會の辭に次いで武藤主事より本年度に於る一般業務取扱狀況の報告、收支計算の說明をなし、來年度の營業對策並びに希望、意見を述べ承認を求めた、續いて首都警察廳佐藤交通股長は取締官廳としての方針及び營業者の守るべき事項等に就いて詳細なる注意を與へ午後三時終了、懇談會に移り同五時散會したが、武藤主事は次の如く語つた

豆タクにタクシー會社のメーター制の實施は何等恐るゝに足らぬが馬糧が一昨年あたりの三倍以上になつたことは何よりの打擊で現在の營業者の經濟はなか〳〵樂ではありません、お客の內には車體が惡いとか業者の訓練が惡いとか相當攻擊する人もありますが、これも考へ方で日本旅館より滿人宿が設備其他にて劣等だと言ふのと變りなく、將來躍進首都の交通機關として科學的合理的なものに改善する考へです、今の馬車は殆んどロシヤ式の舊式なものだから、日本の優秀な技術を有する完全な工場で作つても現在の値段と大差なく業者の手に入ります、兎に角安くて便利なものが結局は勝ちます、吾々の重大任務たる從業員の訓練は警察當局は素より私も大部分其の方に力を注ぎ馬糞の處理については馬車頭として三年半の生活で敎へらるゝ所あり來年には名案が實現します、何はともあれ市民各位の御指導御鞭撻を御願ひします

支那旅行參加者

年末、年始の休假利用の上海、青島視察團は二十六日で締切

刀研ぎの名をかたる

最近地奧へ新京室町井上示現軒からだと稱し刀劍磨研又は鞘ごしらへなどの注文取りに廻る者があるが、同店では店主井上惣三郎氏自らの外、店員を廻らせるやうなことは無いから注意ありたいと

勘崎氏へ記念品贈呈

豫て市民より募集中であつた元新京附屬地地方委員議長勘崎仙英氏に對する記念品はこの程寄附受附を締め切り近く大原地委議長、小松聯合町內會長等が市民を代表して記念品プラチナ懐中時計一個、同鎖一本、金製カップを贈呈することとなつた

變質した清涼飲料食料品

新京署衛生係では食料雜貨店飲食店、カフヱーより販賣する清涼飲料水、食料品を提出せしめこれが檢査を行つたがその結果最も成績の惡いのは滿人雜貨屋提出のビールで約五割の不良品あり次が邦製ポケツトウイスキーの四割、サイダーの三割の不良が目立つてゐるが、これは品質と云ふよりも販賣店に長くストツクされた爲め變質したものの方が多く從つて比較的少量を置く飲食店の方が不良率は尠なかつた、最も良好なのは罐詰類で一個の不良品もなかつた

上原先生謝恩會決算終る

前室町小學校長上原稱豐先生謝恩會記念事業として上原氏と室町小學校へ上原氏胸像寄贈は醵金二千二百卅四圓五十一錢、原型、鑄造、唐木台運賃其他支出同額なる旨委員長大原萬千百氏から報告された

西公園リンク開場時間

西公園リンクの年末、年始にかけて開場時間は次の通り

十二月三十、三十一日―午前九時から午後四時まで、元旦―正午から開場、二日から平常通り

金より犬　愛撫してゐる裡に金落す

いくらあつてもまだ慾しい金を犬に氣をとられて八十圓もふいにした奥さん…特別市清和胡同一〇二大同學院敎授の

金組大晦日營業時間延長

金融組合大晦日の營業時間は午後五時まで延長される

宇佐美理事來京

滿鐵理事宇佐美寬爾氏は二十八日午前來京した

梅屋質店

東一條通り愛久洋行横の梅屋質店では歲末に付貸出しには特に大勉强するそうである、尚電話の照會は三―五七九一番

あす（廿九日）

▲日本側郵便局年賀郵便特別取扱締切

※…今晩の主なる演藝放送…※

▲七・〇〇浪花節（大阪）▲七・四〇俚謠（山形）長谷部長秋外 ▲七・五〇管絃樂（東京）日本放送交響樂團 ▲九・〇〇長唄（大通）東誠之助外

天氣と氣温

[illegible]の天氣　西の風晴
日の出　前　七時一三分
日の入　後　四時　八分
月の出　後　五時三五分
月の入　前　七時四七分
けふの氣温　最高零下三度五　最低零下一〇度〇

映畫と演藝

東和商事の初春陣容

「シュヴァリエの放浪兒」「紅天夢」の二大作を新春劈頭に封切る東和商事は、これに次いで、「新しき土」を筆頭に、左の如く新春の封切陣を編成し、全歐洲の十大傑作で、歐洲映畫時代を春のスクリーンにもたらすことになつた、日獨協同製作「新しき土」アーノルド・ファンク作品、小杉勇、原節子主演。獨逸シネ・アリアンツ映畫「ハンガリア夜曲」トウルヤンスキー監督、マルタ・エッゲルト主演。佛蘭西パテ・ナタン映畫「熱風」フョードル・オッエップ監督、マルセル・シャンタル、インキジノフ主演。獨逸ウファ映畫「ジプシー男爵」カール・ハートル監督、アドルフ・ウオールブリュック主演。佛蘭西トビス映畫「女だけの都」ジャック・フエデエ監督、フランソワーズ・ロゼエ、ルイ・ジューヴエ主演。獨逸シネ・アリアンツ映畫「君とひと夜を」ヨオエ・マイ監督、ジャン・キープライエニー・ユーゴー主演、英G・R映畫「風雲の歐羅巴」ヴィクター・サヴイル監督、ジョージ・アーリス主演。獨逸ベヒト・トルド「ヒマラヤに挑戦して」一行探險記錄、尚これ以外にデュヴィヴィエがプラーグの怪奇傳説に取材した、チエッコ・スロヴァキヤ映畫「巨人ゴーレム」及び、名匠フォルストが「マヅルカ」に次ぐ「ひめごと」の二つも三月頃までに間に合へば封切される筈である

歌舞伎ウィークの計畫進む

【東京國通】菊五郎の歌舞伎を新帝戴冠式前後に迎へる英國の準備は外務省から國際文化振興會に移牒されて來た駐英吉田大使からの報告によれば十七日日本大使館に歌舞伎招致の英國側委員リットン卿、名女優ナンシー・プライス孃、著名な劇作家リットルウッド氏等が集まり協議の結果リットン卿は進んで實行委員長を快諾し、非常な熱意でロンドンの歌舞伎ウイークの計畫が進められた、その中の最も華々しい一夜は五月十二日戴冠式を御擧行遊ばされたばかりのジョージ六世、エリザベス皇后兩陛下及び日本から御名代として御渡英の秩父宮、同妃兩殿下をはじめ奉り各國大公使、英國朝野の紳士淑女を劇場プレーハウスにお迎へして菊五郎が一世一代の榮譽を擔ふ由洩れ傳へられる、この輝かしい日英兩國皇室の台覽期日は五月卅一日か或は六月七日の兩日が豫定され、時恰も英國上下をあげて戴冠式の祝ひに醉ふ時シーズンの眞只中に飛込む六代目一座こそ絢爛日本文化の花束として日本國民が英國におくる慶祝のプレゼントだ

テムプルの燈台守　銀座キネマ正月封切

フォックス廿世紀社作品

『小聯隊長』と同じくデヴィッド、バトラーが監督に當る作品で、テムプルがガイ、キビー、スリム・サムバージイル、バーデイ・エブセン等を相手に主演する、原作はローリー・E・リチャーヅにより、脚色にはサマヘルマンとグラディス・レーマンが協力、燈台守となつて餘生を愉しんでゐる老船長の養育するスターといふ小女が、漁村の意地の惡い富豪に虐められるが、やがてスターの叔母が現はれて燈台守の老船長と共に幸福な生活が始まるまでの話が、お得意の唄と踊りを織り交ぜて綴られる、キヤメラはジョンサイツ、寫眞はその一場面

日活總動員でべからず讀本シリーズ

日活多摩川では明年度の新名物として、「べからず讀本シリーズ」全十二篇を制定し、各篇を獨立せしめ、オペレッタあり、喜劇あり、活劇あり—と云ふ頗るヴァラエティに富んだ日活スタア總動員の集成たらしめる準備を進めてゐるが、第一篇から四篇までのスタッフが左の如く決つた

▲第一篇「花嫁花婿べからず讀本」（中田弘二、高勢實乘、鳥羽陽之助主演物）

▲第二篇「戀愛べからず讀本」（杉狂兒主演のオペレッタ）

▲第三篇「見合べからず讀本」（黒川彌太郎主演で、黒川の現代劇第一回出演となす豫定）

▲第四篇、瀧口新太郎の純情篇である

新興撮影所便り

▼大泉『女の行く道』新興大泉の青山三郎監督の新春第一回作『女の行く道』は東京地方裁判所檢事局次席檢事長谷川清志氏が公務の余暇を見て書き卸したる實話を松崎博臣が脚色したと云ふ稀有の異色作で之が筆者の製作意圖は在來の犯罪者に對する世間の歪めらたる觀念を指摘訂正せんとするにあるもの丈に犯罪者を主人公とする映畫に一新機軸を劃するもので同監督も積極的に豐多摩刑務所を訪問、吉田所長の案内で所内を隈なく參觀、續いて東京控訴院に正木亮檢事を訪れ新しい行刑につきいろいろ聽くなど種々參考資料を得て萬全を期しつゝあり早くも其出來榮えは各方面に異常なる期待を持たれてゐる、因みに主演には新人丹波一郎を一躍抜擢され古川登美の相手役を務め本篇の主要役檢事には立松晃が自發的に出演を買つて出て精彩を添えてゐる

▼寛プロの『國訛道中笠』久しく映畫界に其去就を注目されてゐた斯界の巨匠伊藤大輔が苦心の原作脚色になるものを寛プロが老巧仁科紀彦、嵐寛壽郎の劃期的トリオを以て秘密裡に製作進行を見つゝあるお正月映畫『國訛道中笠』は助演者に歌川絹枝、荒木忍、松田三郎其他寛プロ一黨の藝達者を悉く網羅せるもので赤城山で愛しい乾分に別れた國定忠治が山形屋に揮ふ溜飲三斗の痛快な啖呵を中心に在來の淺薄な股旅物に見る英雄忠治でなく正義一途の人間を描かんと大輔、仁科、寛壽郎の三人がガッチリと取組んでの一大野心作で時代劇界に如何なる波紋を投げかけるか其出來榮えが早くも期待せられてゐる

サボテン

松竹のひろ子クンは美しい。どうしたんだ、君の左の目の下に煤がついてゐるよ、とつて了へよ、と言へば、アラ煤ぢやなくつてよ、ホクロなのよ、とやゝ色をなして訂正した後、やつぱり可笑しいわネ—そこのホクロとつてアはうと思ふけどキズが出來たら倚まづいわネと、今度は恨めしげな面もち、おゝ惡いことを言つたと、不用意な言葉にあわてふためいた▼銀パレスの貞子クンは「銀パレスのお定」と異名を呼ばれてゐるが、一見したゞけでは、いや宵の口にはそんな大それた表情をしてゐない、時計の針がその日の終りを告げる十二時になると、熱心なお客のサービスが身に泌みてか顔付きが變つてくる、窪んだ黒い瞳、突き出た受け口は特異性を發揮して「寄らば切るぞ」の下段構へになるといふ、君子危きに近寄らずか、それとも虎穴に入らずんば虎子を得ずか？心臓のお強いカフェーマンよどうですか？

雜音

正月第一週の松竹各館プロが本決りした▲長春座は松竹「新道朱實の巻」「千両長脇差」RKO「カルネア對ペラ」色彩漫畫▲新キネ、豐樂は日活「栗山大膳」「隣の奥さん」に「桃源膳」▲帝都キネマは新興「母の花園」「綺羅の源内」「浪人極樂天國」「コンゴー」▼銀座キネマはマキノ「血戰荒神山」「舞扇」フォックス「テムプルの燈台守」▼朝日座は日活「人生劇場」同「怪盗白頭巾前篇」RKO「洞窟の女王」▼何れも質より量の花々しさを狙つた編成、一番館では又競爭にならう

十二月廿九日　舊十一月十六日　火曜　乙酉　友引　收　觜宿

● 一白の人　施し置けば其徳自づと我が身に戻り來る日　未と辛と丑が吉

● 二黒の人　氣を晴れ晴れと持つときは自然福徳に向ふ　辛と戌と壬が吉

● 三碧の人　利益多大にして幸運來る日萬事進みて良し　丙と丁と辛か吉

● 四綠の人　内にありて和なれば人自ら集まり來るべし　庚と辛と壬か吉

● 五黄の人　氣を平らかに持たば暗雲も次第に開き來る　辛と戌と壬が吉

● 六白の人　悦樂度を越えず自制するが肝要福德は備る　乙と丙と亥が吉

● 七赤の人　諸事温順なれば外邪自から遠ざかり行くべし　甲と丁と戌が吉

● 八白の人　變化を避け順なれば自然と地位高まるべし　乙と辛と壬が吉

● 九紫の人　始めは滯り勝なれど終には物事進捗すべし　甲と丁と壬が吉

本年十月に於ける全滿貿易概況

輸出入合計八千七百萬圓

財政部發表＝十月中の全滿外國貿易概況左の如し（單位圓）

△輸出

十月	二八、一〇四、八三五
前年同期	三三、九六八、八一六
一月以降累計	四五七、九一七、一〇四
康德三年	三四四、八八〇、六〇四
同二年	[illegible]

△輸入

十月	五九、四三四、七六九
前年同期	五四、八一九、一五一
一月以降累計	五六五、八一三、九三五
康德三年	四九八、七四五、三〇六
同二年	[illegible]

△輸出入合計

十月	八七、五三九、五九四
前年同期	八八、七八八、三六七
一月以降累計	一、〇二三、七三一、〇三九
康德三年	八四三、六二五、九一〇
同二年	[illegible]

△輸出入貿易國別

日本	輸出	一三、三一六、六八四
	輸入	四三、〇〇〇、一三九
朝鮮	輸出	一、九四四、四五四
	輸入	二、一〇三、五八八
中華民國	輸出	九、九三六、〇九二
	輸入	四、九三四、〇九三
ソ聯	輸出	三二三、四四九
	輸入	六九、〇六〇
香港	輸出	六二〇、八五一
	輸入	四二三、二一〇
英領印度	輸出	四五、〇八八
	輸入	三、六三七、四六二
蘭領印度	輸出	三六、二四六
	輸入	二六八、七〇三
英國	輸出	一、二六四、八五〇
	輸入	六〇五、一一五

△主要輸出品

大豆	五、七四六、八一九
その他豆	七四〇、一七七
豆粕	七、五八八、〇四一
豆油	五四六、一三〇
石炭	二、八九一、四八八
鐵鋼及同製品	一、一〇七、三〇八
硫安	七七七、三三七
鹽	四九七、六八三
銑鐵	五三八、九三一
柞蠶糸	四八六、七一四
草麻子	四三四、二二一
粟	四三六、三三〇
木材	四一四、〇三六

△主要輸入品

生綿布	三、三〇一、四四三
漂白或は染色綿布	四、一五一、一七五
棉花	一、五三三、六一四
麻袋	二、二三〇、一一六
絹織物	二、七一〇、一五五
鐵および鋼	二、七〇九、一五五
機械および工具	三、八四六、三七六
車輛および船舶	三、二七八、〇四五
紙	一、六七九、四七二
化學藥および製藥	一、七二九、七五七
小麥粉	一、二〇二、五〇八
電氣用品	一、四一四、八七四
各種衣類	一、八一四、六一一

限六圓七十一錢と堅調裡に越週した

過中總出來高　三、四九四車

一日平均　六九九車

現物　一等品　二四車　高値二三圓五〇錢　安値二一圓四五錢

滿洲國農具
輸入額激增す

最近滿洲國では治安の恢復により農業方面の發展著しく從つて農具の輸入は年々增加の一途を辿り昭和七年の輸入額は三萬六千九百十六圓であつたが昭和十年には卅三萬九千七百五十圓と約十倍に激增してゐるが日本が斷然首位を占め獨逸之に次ぎ殊に昨年から佛國、白耳義の進出を見てゐるのは注目されてゐる、因みに八年以降十年迄の國別輸入額を示せば次の如くである（單位圓）

國別	十年	九年	八年
日本	三三〇、一九	三一〇〇、一六九	七三四、九六三
支那	九九	―	一三六
英國	二、六六六	一三〇〇	―
佛國	六三〇	―	―
白耳義	三二三	―	―
獨逸	八九、一八八	一〇、四三三	一、九二三
米國	三、四三一	一八、三四三	三、〇七八
合計	三三九、七五〇	一三七、四三五	七六、〇八八

日清、日本の兩製粉
進出分野協定
前者は東滿、後者は南滿

滿洲の製粉界は昨年來頓に活況を呈し、內地、朝鮮に於ける進出の余地を失つた內地製粉會社は日東製粉を最初に、日清、日本兩製粉がこれに續いて對滿進出を決定したが、滿洲において內地製粉資本が競爭することは面白くないので滿洲國政府では日清、日本兩會社に對し協調を圖るやう斡旋、兩會社においても充分連絡を取り經營の具體的方針に關し協議、日清は主として東滿地方、日本は南滿地方に於て事業の主力を注ぐこと〻なり兩社では近く創立總會を開催し役員及び諸問題を決定するはずである、尚兩會社の資本金は左の通りであると

日清二百萬圓（二分の一拂込）
日本二百萬圓（二分の一拂込）

海員退職手當制度
勞資代表調印
―一月一日より實施す―

【神戶國通】この夏新日本海員組合が死活を賭して總停船の一步前で獲得した退職手當制度確立の結果、爾來勞資間の協議を重ねること百回、廿六日正午から船主協會で協議の結果、最後的決定案を午後六時わが國勞働史上特筆すべき劇的な調印が行はれ、こ〻に海上大衆十萬の生活を保證する普通船員退職手當規定が確立、明春一月一日を期し實施されること〻なつた、右によれば普通船員は平均給料の基準に勤續二年は一ヶ月半、五年は二ヶ月半、十年は六ヶ月四分一、十五年は十一ヶ月四分一、廿年は廿ヶ月、廿五年は卅ヶ月と退職手當が支給されること〻なつた

新京取引所
前週取引週報

混保大豆　先物　週初二十一日歐洲成約に奧地頗る强硬を呈し十二月限六圓九十錢、一月限六圓九十五錢と各限十二三錢高に立會つたが、輸出筋に買氣添はず却つて賣に出たため跡思惑筋、まばらの一齊賣浴せとなり大反落、同日寄付を高値として後場には四十五錢方の慘落を見るに至つた然るに頃日來唯一の强材たりし歐洲も、買一巡と共に見送りに出たため引續き落調强く二十二日十二月限六圓三十六錢、一月限六圓四十二錢（二會）、二十三日十二月限六圓廿四錢、一月限六圓二十九錢と崩落を演じたが、週央より歲末へかけては大納會を控へて商內に新味乏しいが、手仕舞、乘替物に反騰商狀に移り各限六圓五十錢台を恢復、相場は此の邊りを彷徨して二十五日大正天皇祭の休會に入つた、週末廿六日は再び歐洲好調、輸出筋の買進みを眺めて十二月限六圓六十六錢、一月限新甫六圓五十一錢と發

土建ニュース

決定工事

▲龍江省公署廳舍新營追加工事　●營繕需品局
單獨　二千八百三十圓　草場組

▲朝陽稅捐局正門昇降階段及有刺鐵線張工事
單獨　四百七十八圓　加賀原組

▲禁衛步兵團衞房其他移改築給水裝置工事
單獨　八十圓　清水組

●新京保線區
▲新京ヤマトホテル和食配膳室及料理場給場並に給水裝置新設其他工事
第一回　八五・三三　清水組
第二回　一百三十四圓九十一錢
第一回　一九五・〇〇　須田商會
第二回　一九五・〇〇　須田商會

▲新京ヤマトホテル理髮室前廊下床修繕工事　右同

商況欄
（十二月二十八日前場）

海外經濟電報

▲印棉
ブローチ　二三一留比
オームラ　二一一留比
ベンゴール　一七八留比

▲市俄古小麥
十二月限　一弗四一仙四分三
五月限　一弗三六仙八分三
七月限　一弗一九仙四分三

▲カルカツタ麻袋

金銀市況

●上海標金
本寄歩　一二六六・〇

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回買賣　一〇四、七五〇
第二回買賣　一〇〇、〇〇〇

▲大連爲替
▲上海向
第一回買賣
第二回買賣

▲倫敦向
第一回買賣　一志二片三二分一五
第二回買賣　一志二片二分一

▲紐育向
第一回買賣　二九弗一六分二
第二回買賣　四分三

▲阪神日米爲替
一〇三、三七五
第一回　二八弗二分一
第二回　八五分

▲阪神日英爲替
第一回　一志二片一六分三
第二回　〇〇〇

各地株式市况

▲東京株式（短期）
東新　寄付　一三一、八〇
滿鐵新　一九九、〇〇
鐘新　六〇、〇〇
大新　七七、〇〇

▲大阪株式（短期）
東新　七六、七〇
大新　一三一、九〇
鐘新　一九九、五〇
日產　八〇、〇〇
日電　六六、六〇

▲大連株式（短期）
五品　一三、八〇
豆新　二〇、六〇

▲奉天株式（短期）
二日新　一五〇、五〇
滿鐵新　五九、八〇
東紗新　四七、八〇
鐘新　七九、六〇
日產新　一九七、六〇

各地商品市況

銘柄	寄
滿取新	一三、〇〇
東新	一三二、〇〇
大新	七六、五〇
日產	八〇、五〇
五品	一六、七〇
豆新	三一、〇〇
鐘新	二〇〇、〇〇
滿毛	二〇、五〇
優先	三三、〇〇
滿鐵	六〇、五〇
同新	四八、二〇
電甲	三三、一〇
阿乙	三一、六〇
東拓	―
滿興	三六、七〇
日魯	六八、〇〇
東亞	―

▲大阪棉糸
十二月限　二六六、七〇
一月限　二六一、九〇
二月限　二五九、八〇
三月限　二五七、〇〇
四月限　二五五、七〇
五月限　二五四、〇〇
六月限　[illegible]

▲大阪棉花
當限　七四、三〇
先限　[illegible]

▲大阪人絹
當限　[illegible]
先限　八九、九〇

各地特產市況

▲大連大豆
寄付　大引
袋入
十二月限　七、五八　七、五八
一月限　七、六〇　七、六三
二月限　七、六八　七、六六
三月限　七、六六　七、六九
四月限　七、七一　七、七一
三等現物　七、七〇　七、七三

●同豆粕
現物　二、三〇〇　二、三三五
十二月限　二、三三五　二、三〇〇
一月限　二、三四〇　二、三一〇
二月限　七、一三〇　二、三二〇
三月限　二、三一〇　二、三四〇

●同豆油
現物　三五、六〇　三五、五〇
十二月限　三五、八〇　三五、八〇
一月限　三五、四〇　三五、五〇
二月限　三五、五〇　三五、五〇
三月限　三五、五〇　三五、三〇
四月限　三五、五〇　三五、三〇

新京取引所市況
（十二月廿八日前場）

現物（一石値段）
寄　引　出來高
大豆　―　―　―
高粱　―　―　―
小豆　―　―　―
玉蜀黍　―　―　―
包米　―　―　―

●大豆
十二月限　六、七五　六、七四五　一五車
一月限　六、七〇　六、六五　三二車
二月限　―　―　―

●高粱
十二月限　―　―　―
一月限　四、五七　―　一車
二月限　―　―　―

歌はぬ樂譜

（上映上海）

山中峯太郎

水門讓二畫

（二十一）

黛色の手提袋（三）

見おろした崖が高くて、絕壁のやうなのに、俊子は、思はずゾッとした。

――崖に立てる女性。

ふと、さういふ氣がして、暗い危險な、何か言ひしれない運命的な豫感が、胸先きをかすめて行つた。

『生き行く道には、崖もあれば、峠もあるのだ』

誰かの言葉が、耳もとにさ〻やくやうに思ひ出されて、俊子は、目の前の崖から、急に身をひくと庭の方へ、いそいで歸つて來た。

――崖！

不安な豫感が、まだ、胸のすみに、からみついてる。それを拂ひのけるやうに、廊下へ上つてくると、湯殿の方へ一氣に入って來た。

叔母さんは、もう出てゐて俊子は、ひとりだけの浴室に帶をといた。

――あの澄江さんが、お母さんだつたとは！

驚きと、暗い崖の豫感と、二つがもつれて、そこになほ今さらに、藤岡と石田の二人のことも、感情を複雜にして湯へつかりながら、そゞろに憐ましく、俊子は眉をひそめてゐた。

石鹼も忘れて來たし、早く洗つて、あた〻まるともなくすぐに上ると、そのま〻部屋へ歸つて來た。

澄江の枕もとに、叔母さんと道子が、三人とも、沈んだ顏をしてるのを、俊子は、部屋へ入るなり見た。

――ほんたうの母さんを、今知つて！

さう思はずにゐられない、小さい道子の顏にも、悲しみと、訝かしげな表情が、ありありと見えてゐた。

『あら、もうお上りでしたの……』

と、叔母さんが、とつてつけたやうに言つて、

『わたし、あした歸るつもりでゐましたけれど、澄江さんの容態が氣になりますから、やつぱり五六日、延ばすことにしましたわ』

なにか不平らしい調子が、肚だかい聲にふくまれてゐた

『まあ、では、あたくし、お先きに失禮しませうかしら、ねえ、澄江さん、い〻でせう？』

複雜してゐる感情が、俊子の口調をも、思はず激しくさせた。

澄江は、仰向いたま〻、この時も目をふさいでゐた。かすかに頷くと、

『お呼びだてして、すみませんでしたけれど、でも……』

――どうぞ、あたしの手提袋を向ふの人へ、早く渡してくださいね、お願ひですから！

切なく願つてゐる澄江の氣持ちが、ハッキリと俊子にわかつた。

『え〻、きつと、お大事にね……』

と、俊子は、たしかに預かつて行く手提袋のことを、言葉のそこで澄江に告げた。

――手提袋を俊子に、澄江さんが言づけたのを、叔母さんが知つて、不平に思つてるのかも知れない。でなければ母と子の名のりを、澄江さんが、あ〻して道子さんにしたのを、叔母さんが怒つてゐるのだらうか。

けれど、今、そんなことを俊子は、氣にしてゐられなかつた。それよりも、

――ぜひ、お願ひがありますから、と、さう言つて私を呼びよせた、澄江さんのために、今は一日も早く、手提袋を向ふの『木野』といふ人に屆けて、それが何よりも澄江さんを安心させるのに、ちがひないのだから。

さう思ふと、俊子は、急に歸り仕度をはじめた。

すると、道子が訊くのだつた。

『お姉さん、歸るの。あたいも歸りたいわよ』

ほんたうの母が、重態でゐるのに、その側にゐたくないといふ道子の幼心とはいへ、これを聞く澄江の氣持ちを、俊子はかなしく同情せずにゐられなかつた。

新京日日新聞　朝刊　【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話（編輯局專用③三二二五　營業局專用③三三〇〇）
發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　水越內之介

日濠通商交渉成立し　兩代表、通告文を交換

揉め拔いた紛爭全く終熄　外務省當局談を發表

【東京國通】日濠通商交渉は廿六日の村井、ガレット兩代表の通告文交換によりこゝに全く紛爭終熄を告げ正常狀態に復したので、外務省は廿七日夜十時右通告文要項並びに外務當局談を左の如く發表した、しかして右通告文においては日本側は濠洲に對して發動せる通商擁護法の撤廢、羊毛の一ヶ年半八十萬俵の輸入許可制および綿布、人絹に對し同じく一ヶ年半七千六百八十七萬五千平方ヤードのそれぞれ輸出制限をなすべき旨通告し、濠洲側は七月八日の輸入許可制の撤廢、日本綿布、人絹に對する中間稅率の適用を通告せるものである、通告文內容左の如し

ガレット大臣の通告文

一、濠洲政府は一九三六年七月八日實施したる日本品に對する輸入許可制を廢止すること

二、濠洲政府は日本制綿布、人絹布に對し中間稅率を附與すること

三、濠洲政府は綿布および人絹布に對する中間稅率に對し左の通りに引下げを行ふこと、綿布生地平方ヤードにつき一ペンス四分一、晒一ペンス二分一、捺染または染二ペンス、人絹布四ペンス

四、濠洲政府は日本製綿布および人絹布に對し從價五分のプライメーヂ稅を免除すること

五、一九三七年一月一日より一九三八年六月卅日に至る期間において濠洲政府は日本製の綿布および人絹布各一ヶ年五一、二五〇、〇〇〇平方ヤードの割合をもつて綿布および人絹布それぞれ七六、八七五、〇〇〇平方ヤードの輸入を許可すること

村井總領事の通告文

一、日本政府は昭和十一年勅令第百廿四號の規定に基く從價五割の附加稅および輸入許可制を廢止すること

二、日本政府は一九三八年六月卅日に終る期間においてオーストリア產羊毛八十萬俵の輸入を許可すること、一九三八年六月卅日に終る期間において輸入を許可せられ、右期間中に日本に到着せざる濠洲產羊毛に對しては一九三八年九月卅日以前に日本に輸入せらるゝものに限りその輸入を許可すること

三、日本政府は一九三七年一月一日より一九三八年六月卅日に至る期間において濠洲向け輸出せらるゝ日本製綿布（袋製造用キヤラコを除く）および日本製人絹布の數量を一ヶ年それぞれ五一、二五〇、〇〇〇平方ヤードの割合をもつて左の通り制限すること、綿布（袋製造用キヤラコを除く）七六、八七五、〇〇〇平方ヤード、人絹布七六、八七五、〇〇〇平方ヤード

圓滿成立による　會商の派生的效果

【東京國通】七ヶ月にわたりもめにもめぬいた日濠會商圓滿成立、まづ成功であつたといへよう、さらに日濠會商の派生的效果として左の諸點が擧げられる

一、原料品國策の必要を痛感せしめ

二、羊毛の分散買付けを誘致し、南米、南阿等への輸出貿易を振興し得たこと

三、ステイープルファイバーの發展を促し、よつて同時に日本および滿洲に緬羊發展の機運を刺戟した

四、毛織物の利用を奬勵し英獨など發達せる再生羊毛の發達を早めた

今回の日濠取極めには短期間のものとは云へ羊毛對織物のバーターの形式をとつてをりこの點一九三四年の第一次日印協定が棉花、綿布のバーター形式をとり日本におけるバーター制のトツプを切つたのに次ぐもので、ゆがめられた國際經濟の現狀においてはこれに適應する一つの新表現であり、今後における日本對外通商の一面を示したものといへよう

四年度歲入豫算に關する　財政部大臣談

康德四年度歲入豫算に關し財政部大臣は廿八日左の談話を發表した

□

康德四年度總豫算は廿八日公布されたが、一般會計歲入總豫算額は

經常部	二二一、六〇一、八〇四圓
臨時部	二六、四六六、九五六圓
合計	二四八、〇六八、七六〇圓

であつて之を前年度豫算額

經常部	一九三、三三四、〇五六圓
臨時部	二六、一四〇、九四四圓
合計	二一九、四七五、〇〇〇圓

に比較すれば

經常部	二八、二六七、七四八圓
臨時部	三二六、〇一二圓
合計	二八、五九三、七六〇圓

を增加してゐる

さて右總豫算の內財政部所管一般會計歲入豫算額は

經常部	二〇八、三〇一、六三三圓
臨時部	六、二四二、六三一圓
合計	二一四、五四四、二六四圓

であつて、之を前年度豫算額

經常部	一八七、六六五、二一〇圓
臨時部	一一、八五一、〇〇〇圓
合計	一九九、五一六、二一〇圓

に比較すれば

經常部に於ては二〇、六三六、四二三圓を增加し臨時部に於ては五、六〇八、三六九圓を減少し差引一五、〇二八、〇五四圓の增加となる

右歲入豫算額の內譯は

租稅收入	一五三、〇五九、〇〇〇圓
印紙收入	九、〇九七、〇三二圓
官業收入	四四、三六七、七五二圓
その他	七、九五〇、四八〇圓
合計	二一四、五四四、二六四圓

であつて右內譯の大要を概說すると次の樣である

一、租稅收入

租稅收入は歲入總豫算中最も重要なる地位にあるのでその消長の歲計上に及ぼす影響は極めて重大な關係を有するものであるが、康德四年度において前年度豫算額に比較し一五、一七〇、〇〇〇圓の增加を見込み得たることは國民經濟の發展を如實に物語つてゐるのである

なほ租稅收入を內譯すれば

1 關稅

關稅收入は八九、六五八、〇〇〇圓であつてこれを前年度豫算額八四、七六一、〇〇〇圓に比較すれば四、八九七、〇〇〇圓の增加であるが、この增加は經濟界の健全なる發展に基く自然增である

2、內國稅

內國稅收入は六三、三七一、〇〇〇圓であつてこれを前年度豫算額五三、〇九八、〇〇〇圓に比較すれば一〇、二七三、〇〇〇圓の增加となる、その增加の主なるものは營業稅、法人營業稅、捲煙稅、麥粉稅等であつてこれ等は稅法の合理的な改正および國內產業の勃興による影響と徵收機關の整備による課稅取締の徹底ならびに外國人に對する課稅の實施等に基因するものである

二、印紙收入

印紙收入は九、〇九七、〇三二圓であつてこれを前年度豫算額八、六三九、三二六圓に比較すれば四五七、七〇六圓の增加である、この增加の主なるものは諸法令の施行により印紙をもつて納付したる歲入の增加せるに基因するものである

三、官業收入

官業收入は四四、三六七、七五二圓であつてこれは新たに專賣に屬せしめた鹽および火柴の利益金が含まれてゐるのである、そうしてこの官業收入を前年度豫算額三九、六八二、〇〇〇圓（鹽稅を含む）に比較すれば四、六八五、七五二圓の增加である、この增加を生じた理由は專賣統制によることゝ經濟界の好況に伴ひ鴉片および石油專賣事業の發展による增收ならびに火柴專賣制度實施によるものである

四、其の他の收入

その他の收入の主なるものは福民獎券收入由特別會計滾入、雜收入等で、この豫算額は七、九五〇、四八〇圓であつて、これを前年度豫算額一三、二三五、八八四圓に比較すれば五、二八五、四〇四圓の減少を來すこととなるが、右は本部より總務廳に所管換となつた國債金一〇、〇〇〇、〇〇〇圓を減少した爲であつて前記國債金を除けば特別會計滾入の新規增加と福民獎券の增加發行により四、七一四、五九六圓を增加してゐるのである

以上の樣に康德四年度においては相當の增收を見込み編成されたのであるが、他面においては稅法の合理的改廢により印花稅の減稅ならびに修江捐の全廢をなし又は鹽の專賣制度實施と共に鹽價の引下げをなす等相當多額にわたつて國民負擔の輕減をはかり、もつて將來における國民經濟の發展に資したいのである、かくの如くわが財政がますます健實なる發展をみることを得るに至つたことは邦家のためまことに慶賀に堪えない次第である

マドリツド攻防戰　兩軍間に大激戰展開

【マドリツド廿七日發國通】マドリツドの攻防戰は依然として一進一退革命軍は本年中に是が非でも首都を陷るべく廿七日拂曉より首都の中心地に猛攻擊を加へると共に全線にわたり果敢な總攻擊を開始し、兩軍間に大激戰が展開、おびたゞしい死傷者を出した

ゼ將軍逝去

【ベルリン廿七日發國通】國防軍の生みの親ハンス・フォン・ゼークト將軍は廿七日午後死去した、享年七十、再軍備なつた今日元老ゼークト將軍の死は痛惜されてゐる

新島震災の被害狀況

【東京國通】新島震災につき廿七日夜東京府社會局に達した公報によれば被害狀況左の通り

即死 三名
負傷 五〇名
家屋倒壞 全潰 二〇戶　半潰 五〇戶　破損 三五〇戶

學校は校舍の一部傾斜、屋根瓦落下せしも御眞影は無事校庭に奉遷、被害見込み額は本村七十萬圓若鄉六萬圓、計七十六萬圓、一戶當り千圓程度である

秘密外交に對して　各派に不滿濃厚

外交經過報告要求提案さる

【東京國通】國同より提案された外交經過報告要求問題は各派の意向が一致せぬため衆議院としての態度決定は明春各派の交涉會に持越されたが政府としては休會明の議會においては各派の要求に應じ秘密會その他の方法によつて差つかへない限り詳細に外交經過を說明し各派の誤解一掃に努める方針で今のところ休會中に政府側が積極的に外交報告を行ふ意向はなく問題の性質上明春の各派交涉會に對しても自重を要望してゐる、しかし所謂秘密外交に對する不滿は政、民兩派の間にも可成り濃厚であり、議會再會に先立ち政府側から進んで何らかの諒解工作に努めぬ時は休會明劈頭相當やかましい外交問題の論議が行はれる事は必至とみられてゐるので各派の報告要求問題に對し政府が如何に對處すべきかが注目されてゐる

人事往來

▲大西米治氏（會社員）二十八日來京中央ホテル
▲平林三治氏（官吏）同
▲原口源氏（商業）同
▲村田正雄氏（吳服商）同都ホテル

航空往來

▲青山勝三氏　二十八日新義州へ往復
▲島川淸久氏（請負業）同
▲寺崎辰次氏　同新義州へ
▲日下部一郞氏（會社員）同奉天へ
▲村上十二彥氏　同
▲高橋喜六氏　同大連へ
▲松田島雄氏　同奉天から
▲田部行夫氏　同牡丹江へ
▲高橋寬一氏　同
▲大石良二氏　同
▲武井時雄氏　同

張、楊は結局外遊

舊東北軍は綏遠一帶に移駐か　南京で連日對策協議

【上海廿八日發國通】國民政府は連日軍事中央常務會議を開催、時局拾收につき協議、近く最後的決定を見る模樣であるが、張學良、楊虎城兩氏の處分案については張、楊兩氏が蔣介石氏以下各要人を釋放した以上深く既往をとがめず形式的に一應軍法會議の査問に附したのち下野外遊を許可する事とならう、この間最も問題となるのは叛亂部隊たる舊東北軍の改編、移駐問題で一步處置を誤れば共產軍化する可能性充分にあり、中央を苦慮せしめてゐる、某有力機關に達した確報によれば、全部隊を一旦王樹常氏又は于學忠氏に指揮せしめ事實上閻錫山氏の勢力下に置き容共抗日の名目を與へて山西省北部より綏遠一帶に移駐せしめるに內定したと傳へられてゐる

蔣氏警衞隊も南京歸還

【上海廿八日發國通】西安クーデター勃發により蔣介石氏の警衞隊は多數の死傷者を出したが、なほ殘存せる百余名は事件解決により今日特別列車で西安を出發した、出發に當つては驛頭に學良部隊が整列して見送り、昨日の敵はたちまち今日の友として熱烈な歡送別離の挨拶を交驩、感激的場面を演じた

西安監禁の要人南京到着

【上海廿八日發國通】事件解決により釋放の身となつた蔣作賓、陳誠氏以下十余名の中央要人は廿七日飛行機にて西安を出發、同午後五時無事南京に到着した

偶語

五百米十錢で走る豆タクが出現して相當大打擊をうけたのは客馬車であることに間違ひない▼不潔で慢々的で時によると言葉が通じなかつたり地理不案內につけ込んで不當の賃金をとられたりするよりも小奇麗で速くて賃金爭など不愉快な思ひをせずに走つてくれる豆タクに乘るのは人情だから止むを得まい▼これにあわてた譯ではなからうが客馬車組合では關係方面を招いて武藤組合長が抱負を發表した▼それによると〃今まで馬車は殆んどロシヤ式の舊式なものだからこれを躍進國都の交通機關として科學的合理なものに改善する考へだ▼馬糞の處理については馬車頭として三年半の生活で敎へられるところあり名案があるから實現する〃とおつしやる▼おくればせながら改善するにこしたことはない精々市民の足を引きつけるやうサービスが第一ですぞ▼今まで一向おかまひなかつた滿洲國人間の商號爭ひがぼつ〱現はれて來た▼見方によつては滿洲國人の生活レベルが向上して來た一證左でもあるが又一面▼事を起して一儲けせんとする類の商實に利用されてゐるやうにも見へる▼滿洲國は王道樂土を建設するのが目標だ餘り平地に波瀾を起さぬこと

四年度新京特別市　歲入歲出豫算に就て

▽……韓特別市々長談

1、豫算編成の方針

康德四年度豫算編成に當りては前年度の實績に基礎を置き更に市勢の現狀を極め將來の趨勢、殊に明年七月を期し實施せらるべき滿鐵附屬地行政權の移讓及明年度を以て第一期建設計畫を完了すべき國都建設局施設の移管等劃期的大業の遂行に善處せんが爲財源涵養の必要を認め極力經費の膨脹を抑止せるは勿論進んで過去の實績に鑑み既定經費の節減を圖る方針の下に編成したり、乍然極端なる經費の削減は市各般の行政上に影響する所尠からざるべきを以て國都の現狀に照し市民の福利增進の爲差し措き難き諸般の施設即衞生、土木、社會救濟事業等に對しては市民の負擔と財政の現狀に適應する限度に於て增加計上せるは蓋し餘儀なき次第なり

2、豫算の概要

市勢の著しき伸張に伴ひ市行政各部門に亘る整備充實に要する經費として各主管科よりの豫算要求總額は經常費百三十九萬八千六百二十二圓、臨時部經費として三百五萬二千九百九十八圓總額四百四十萬六千六百二圓に達せるも前述せる豫算編成方針に基き歲入の現狀に即し歲出經常部豫算を百二十二萬二千百九圓、臨時部二百三十七萬五千五圓總額三百五十九萬七千百十四圓と査定せり、歲入に在りては附屬地外日本人課稅權の移讓による收入九萬九千九百九圓の外稅外諸收入の增其他を合せ經常部を百三十一萬四千八十八圓、臨時部歲入として廳舍、公會堂建築費、敎育費、土木、社會事業費等に對する國庫補助金、寄附金、前年度繰越金及市債償還資金充當土地賣却代收入等を合し二百二十八萬二十六圓とし歲入總額を歲出同額三百五十九萬七千百十四圓と定めたり尙國庫補助金は國家財政の都合により多少の增減を免れず、從つてこれを財源とする歲出も多少の變更を來すはずなり

日濠正常通商關係の急速回復を念願
外務省當局談發表

【東京國通】外務當局談＝曩に濠洲政府は本年五月我綿布及び人絹布に對し輸入許可制度を採用し、且禁止的高率關税を賦課したゝめ帝國政府は通商擁護法に基き六月下旬濠洲品に對する關税の増徴及び輸入許可制をもつてこれに對應するのやむを得ざるに至つた、帝國政府は日濠通商關係の改善を懸念、前記對應措置を實施後と雖も濠洲政府が各措置を撤回するにおいては、何時にても商議に應ずる用意ある旨を聲明したが、不幸にして同國政府の容るゝ所とならず、事態は益々惡化の已むなきに至つた、八月下旬に至り濠洲政府は帝國總領事に對し事態打開のため商議を開始し度き旨申出でたので、我方はこれに應じ兩國より提案をなし爾來折衝の迂餘曲折を重ねた結果十二月下旬に至り彼我の意見一致を見るに至つた、よつて兩國政府は取敢へず兩國通商正常關係回復のため必要な措置を昭和十二年一月一日より一方的に實施することを双方に通告した、今次日濠政府がとるべき措置は正常通商關係の急速回復を念願する兩國政府は、取敢えず各自必要とする應急措置をとるの主旨に出でたもので、兩國の通商關係を律すべき協定の締結はなほ今後の折衝に俟たねばならぬが、過去七ヶ月に亘り日濠間に低迷せる暗雲はこゝに一掃され、兩國通商關係が明朗化するに至つたのはまことに慶賀に堪へない、兩國の親善關係も亦これを契機としてさらに一層の緊密を加ふべく而して日濠通商關係の明朗化は延いて一般日英通商關係に好影響を齎すべきを信じて疑はないのである

日濠新取極で貿易尻好轉へ
日濠間貿易の將來

【東京國通】今回の日濠取極めにより今後日濠間の貿易狀態をみると左の如くである。（單位千圓）

一、本年六月末における二ヶ年間日本より濠洲への輸出入額　七六、五六一　同期間中濠洲より日本への輸入額　二八五、一八九　差引日本の入超額　二八〇、六二八

二、來年一月以降一ヶ年に日本より濠洲への輸出額　綿布約一四、〇〇〇（七一、二五〇千平方碼）人絹布約一六、〇〇〇（五一、二五〇千平方碼）　濠洲より日本への輸入額　羊毛一二四、〇〇〇（約四十萬俵）

即ち同年六月末における一ヶ年間の綿布、人絹布合計額に比し明年一ヶ年の綿布、人絹布の對濠輸出額は八百萬圓減額となる見込であるが、一方羊毛においては一億一千百萬圓の減額となり、他の貿易品が常態なりとして差引き約一億一千百萬圓の日本に對する顯著な改善となる、その他綿布、人絹に對する從量税の附課により高級品が濠洲に向け輸出される豫想であるので、右貿易の改善額はさらに大となるわけで、日濠交渉の結果貿易尻は著しい好轉を見込まれる

貴院全院委員長 德川公決定

【東京國通】新裝成れる貴族院初の本會議は廿七日午前十時十分開會、直ちに開院式に賜りたる勅語の奉答文起草の議事に入り近衛議長の手許で起草せる奉答文案を朗讀すれば滿場起立してこれを可決、ついで全院委員長の選擧に入り投票の結果、投票總數二百七十八票中二百二十五票の絶對多數で德川圀順公が當選した、ついで常任委員選擧のため十時三十四分一旦休憩に入つた

第二次臨時人口調査 愈よ一齊に着手
成果に期待、關係各部張切る

來る十二月三十一日現在で全國五十四都市の地域に行はれる第二次臨時人口調査は各地共すでに調査に着手してゐるが中央においても總務廳統計處を始め民政部、蒙政部その他關係各部が完全なる効果を收め得るやう期待してゐる、元來本調査の結果は戸籍法制定或は產業の開發その他滿洲國における緊急なる各般の施政經營に最も有用不可缺の基礎的資料となるので、政府においても大に力瘤を入れてゐる、なほ人口調査の要領は左の通りである

△時期　康德三年十二月卅一日（陰曆十一月十八日）現在により行ふ

△申告者　右時期における戸の常任者を當該戸の戸主又は管理者から申告す、なほ獨り滿人のみに止らず日本人其他外國人も洩れなく申告す

△調査施行地域　吉林省＝額穆以下八縣城　龍江省＝訥河以下九縣城　三江省＝富錦、依蘭二縣城　濱江省＝呼蘭以下七縣城及一面坡、牡丹江、綏芬河　間島省＝圖們　龍井及琿春縣城　奉天省＝奉天市、新民以下七縣城　山城鎭及　錦州省＝北鎭以下三縣城　熱河省＝赤峰、平泉二縣城　興安東省＝札蘭屯、博克圖　興安北省＝海拉爾、滿洲里　興安西省＝開魯、林西二縣城　興安南省＝王爺廟、通遼

△申告事項　一、姓名　二、戸における地位、三、男女の別、四、出生の年、五、職業、六、出生地、七、來滿の年、八、民族又は國籍の八項目

△調査の方法　康德三年十二月二十一日から同月二十五日までの間に調査員が各戸に巡廻して戸號票を住居に貼付し、同月二十六日から同月三十日までの間に人口調査呈報書用紙を各戸に配付し各戸の戸主或ひは戸の管理者はこの用紙に所定の事項を記入して置く康德四年一月一日から同月五日までの間に調査員が各戸を訪問する時右報告書を提出する

練習船競爭を オリムピックレースに加ふ
東京大會に小野商船教授提唱

【東京國通】世界に誇る優秀な練習船大成丸（二、四〇〇噸）をもつてゐる東京商船學校の小野教授は豫て各國練習船の長距離航海競技をオリムピックレースに加へてはとの意見を持つてゐたが、いよいよ東京大會を機會に實現さるべくプランを作つてオリンピック委員會に諮ることになつた、競技方法は日本を出發點として南洋のサイパン島往復ハワイ往復等をなすか、全部サンフランシスコ邊へ勢揃ひして横濱目差してスタートしてもよしといふわけで、わが國からは大成丸をはじめ神戸高等商船の進德丸、文部省航海練習所の日本丸、海洋丸といづれも二千噸級の練習船が四隻、それにドイツ、アルゼンチン、ポーランド等の各國海軍が一隻づゝ、アメリカの商船學校が四隻持つてゐるので全部參加すれば十一隻、さらにイギリスの十隻、フインランドの八隻と數へたてればかつてのブルーリボン爭奪戰を思はすやうな壯快なレースが太平洋上を四十日乃至五十日にわたつて展開するわけで海國日本にふさばしいプランであらう

宇垣、今井田兩氏に記念品贈る

【京城支局】宇垣前總督、今井田前政務總監は退官後東京に在りて悠々自適してゐるが兩氏に對し今回林財務局長、加藤鮮銀總裁、湯村京畿道知事、甘庶京城府尹等の發起の下に記念品を贈呈し在鮮中の功績に酬ひる事になり二十四日鮮內關係方面代表者に募集依賴狀を發送した、因みに募集期限は昭和十二年三月末日とし醵出金額は一圓、二圓、三圓、五圓、十圓、十圓以上と區分してゐる、資金拂込は宇垣氏の分は口座番號京城二六四二三番、今井田氏は口座番號京城二六、四三八番を利用されたいと

新議事堂最初の 第七十議會召集さる

新裝なつた議事堂最初の第七十議會は二十四日午前十時を以て召集された、寫眞は衆議院開會の處、立てるは富田議長

不承認の本山 聯盟圖書館
滿洲國關係圖書寄贈を依賴

滿洲國不承認の本山ジュネーヴの國際聯盟圖書館から滿洲國關係圖書寄贈依賴があつたといふ近頃痛快なニュース、右は在ジュネーヴ帝國總領事横山正常氏が、國際聯盟圖書館の依賴を受けて仲介の勞をとり駐滿大使館宛にこの程同圖書館の十一月廿八日附依賴狀を寄せたものであつて依賴狀には「滿洲國」なる言葉は勿論のこと「外交部」「財政部」等國際聯盟としては口に出したくも出すべからざるいはゞタブーといふべき言葉が使用されてゐる、これは事實上滿洲國を承認しなくてはやつて行けない必要に迫られてゐることの證據で國際聯盟の從來の不承認主義との矛盾をまざまざと現はしたものといふべく、受取つた大使館當局では早速外交部にその旨を通じ寄贈方を依賴するところあつたので、外交部でも可及的速かにかつ多數ジュネーヴ宛發付することゝなつた

渡邊機關中佐

海軍省軍需局第二課先任局員渡邊機關中佐は滿鮮視察のため一月十二日清津經由十四日東京一泊十五日午後二時南下の豫定である

大達前廳長 東京着

【東京國通】大達前總務廳長は二十七日午後九時東京驛着列車で着京した

漁業條約効力延長案 樞府本會議通過

【東京國通】日ソ漁業條約効力延長の件を緊急上議すべき臨時樞府本會議は廿八日午前十時より宮中東溜間に開會、平沼、荒井正副議長以下各顧問官政府側より廣田首相、有田外相、島田農相以下各大臣次田法制局長官その他參列、天皇陛下の親臨を仰ぎ左記御諮詢案を上程した

一、日本國とソヴィエト社會主義共和國聯邦間漁業條約の効力延長に關する議定書署名の件

右につき村上書記官長から案の內容ならびに審査經過につき報告の後審議に入り採決の

新島は南國の觀光溫泉地

【東京國通】全滅を傳へられてゐる新島は伊豆半島南端から黒潮渦卷く太平洋を飛石のやうにつなぐ伊豆七島中の一島で戸數七百四十戸、人口四千余人、住民は乾魚と椿油の製造をしてをり、女は老若を問はず昔ながらの島田まげに純朴さながらの生活を營み、南國の情調豐かな風俗をくりひろげてゐる

白砂に續く海岸づたひの至る處の岩の間隙に溫泉湧き、潮の滿干で湯加減が調節される等自然にめぐまれた同島は、最近新島溫泉ホテルその他五六軒の旅館が出來、觀光保養の最適地として全國に紹介されつゝあつたものである

プリンスベーン氏逝去

（ニューヨーク廿五日發國通）米國新聞界の大御所として過去廿數年ハースト系新聞に關し「今日」の標題の下に連日ハースト系諸新聞に時事評論を揭げてゐたアーサー・ブリスベーン氏はクリスマスの朝ニューヨーク第五街のアパートで心臟麻痺で逝去した、享年七十三

寄附二つ

▼祝町二丁目二一石田シュンさんは廿九日が故夫善作氏の滿中陰に相當するが廿六日に繰上げ長春寺へ金一封を寄附した▼ダイヤ街龜岡忠藝氏は兒童多期體育奬勵のため金二十圓を八島小學校父兄會へ寄附した

日本では鹽賠償價引下

【東京國通】大藏省專賣局では明年一月一日より實施せられる葉煙草の賠償價格を据置きとし鹽の賠償價を主要產地に對して百キロ廿錢の引下げを行つたのをはじめ全國的に引下げを行つた、また鹽の賣渡價格は內地鹽百キロ當り廿錢、輸移入鹽は百キロ當り平均十九錢をそれぞれ引下げることに決定した、なほ加工種鹽は並等廿錢引下げの四圓卅錢、德島縣產出鹽は廿二錢引下げの四圓三十錢となつた

商況欄（十二月二十八日後場）

●上海標金　前引　一二五三、五
●上海爲替
日本向　第一回　賣　一〇四〇〇　買　一〇四二五
倫敦向　第一回　賣　一志二片三一分/二　買　一志二片一六分九
紐育向　第一回　賣　二九弗四分三　買　二九弗一六分三

株式相場

▲大連株式（短期）寄・引
五品新　一五、三〇　一五、三〇
豆鈔新　一〇、四〇　ー
銭鈔新　一三一、一〇　一三一、九〇
東鐵新　五九、三〇　五九、三〇
滿新　四七、六〇　四七、六〇
二產新　七五、三〇　七七、三〇
日新　一八六、九〇　一八六、三〇

▲奉天株式（短期）寄・引

銘柄	寄	引
滿取新	一四三、三〇	一四二、三〇
東新	七〇、〇〇	ー
大新	ー	ー
日產新	七七、一〇	七六、六〇
鐘新	一六六	ー
五品	一五六〇	ー
豆新	二〇、三〇	ー
同甲	四八、〇〇	ー
電拓	五五、一〇	ー
東興	ー	ー
滿毛	三六、六〇	ー
滿光	二〇、〇〇	ー
優書	三三、〇〇	ー
日	六六、三〇	ー

手形交換高（二十八日）

票數　六六四枚　金額　三三七、六八七、七八
國幣　七四四枚　五三四、五一五、四五

新京取引市況

（十二月二十八日後場）

現物（一石値段）　寄　引　出來高
大豆　三、一〇　ー　三車
高粱　一、六〇　ー　三車
小豆　ー　ー　ー
玉蜀黍　ー　ー　ー

定期（混合百斤値段）
大豆
十二月限　六、八二　六、八五　二十三車
一月限　六、九〇　六、九五　二車
二月限　ー
高粱

轉任、轉宅の運送荷造は

多少に拘らず御用命下さい

（峰）運送店

新京民政部前　電3 六三五七

新京區公示

第二九號

昭和十二年四月當課所管幼稚園ニ入園希望兒童ノ保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ新京事務局地方課學事係ニ提出セラレ度

昭和十一年十二月二十五日

南滿洲鐵道株式會社
新京事務局地方課長　田中弘之

記

一、入園兒童　自昭和六年四月二日至昭和七年四月一日出生者
一、入園申込書受付期間　自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日
一、入園申込書ニハ戸籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト
一、入園申込書ハ新京事務局地方課學事係ニ請求セラレ度

關東州及南滿洲鐵道附屬地 外國爲替管理規則（四）

第十三條　昭和十二年一月一日以後外國通貨（國幣を除く）を以て表示する證券又は債權を所有する者本令施行地内に住所を有するに至りたるときは別に定むる所に依り翌月十五日迄に大使に報告すべし

昭和十二年一月一日以後本令施行地の内外に於て前項の證券又は債權を取得し又は失ひたる者は別に定むる所に依り翌月十五日迄に大使に報告すべし

前二項の規定は其の金額千圓相當額未滿なる場合及外國人が本令施行地外（内地、朝鮮、臺灣及樺太を除く）に於て所有するものに付ては之を適用せず

第十四條　本令に依り一定の期間内に明細書又は報告書を提出すべき義務を負ふ者事變災其の他の已むを得ざる事故に因り其の期間内に提出すること能はざるときは其の事故止みたるとき其の事由を具して遲滯なく提出すべし

第十五條　大使必要と認むるときは事項及人を指定して本令に定むるもの外報告を徵し又は本令に定むる報告を免除することあるべし

第十六條　大使必要と認むるときは官吏をして何人に對しても關東州及南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理令に於て依ることを定めたる外國爲替管理法第一條の禁止又は制限に關係ある事項に付其の帳簿其の他の檢査を爲さしむることあるべし

第十六條の二　大使必要と認むるときは國幣の賣買を大使の指定する者を相手方として爲すべきことを命ずることあるべし

第十七條　大使は金地金外國通貨、外國爲替又は外國通貨を以て表示する證券若は債權を有する者に對して業務上其の他正當なる理由に基き其の保有を必要なりと認むるものを除くの外自ら之を處分すべきこと又は大使の指定する者に賣却すべきことを命ずることあるべし

第十八條　本令施行地内に本店又は主たる事務所を有する法人又は本令施行地内に住所を有する人の内地、朝鮮台灣及樺太に於て爲す取引又は行爲に付ては第一條の四第二條及第四條の規定を適用せず

第十九條　外國爲替管理法に基く命令の規定に依り大藏大臣、朝鮮總督、臺灣總督又は樺太廳長官の許可を受けたる取引又は行爲に付ては本令の規定に依り大使の許可を受くることを要せず

第二十條　削除

第二十一條　削除

第二十二條　第一條の二若は第一條の三の規定に違反し若は第九條の四、第十條の二第十二條の二の規定中銀地金に關する規定に違反し又は第十六條の二の規定に基きて發する命令に違反したる者は一年以下の懲役若は禁錮二百圓以下の罰金又は拘留若は科料に處す

法人の代表者又は法人若は人の代理人、使用人其の他の從業者が其の法人又は人の業務に關して前項の違反行爲を爲したるときは行爲者を罰するの外其の法人又は人に對し亦前項の罰金刑を科す

第二十三條　關東州及南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理令に於て依ることを定めたる外國爲替管理法の罰則の適用を受けざる者同法に依り處罰せらるべき行爲に該當する行爲を爲したるときは拘留又は科料に處す

第二十四條　本令の規定に依り大使の許可を受くる場合及大使に報告すべき場合の手續に付ては別に之を定む

附　則

本令は昭和八年十月五日より之を施行す

附　則

本令は昭和十年十二月十日より之を施行す

附　則

本令は昭和十二年一月一日より之を施行す

横濱正金銀行の本令施行地内及滿洲國内に於て發行したる銀行券は第二條第一號及第四號の規定中外國通貨より之を除く

昭和十一年十二月三十一日迄に業として外國爲替の賣買を爲す旨の屆出を爲したる者（銀行を除く）引續き其の外國爲替業務を營まんとするときは昭和十二年一月三十一日迄に大使の許可を受くべし

前項の規定に依り許可を受けたる者は之を外國爲替銀行に準じ第一條の四第二項、第八條第三項、第九條第一項、第十條第一項及第十二條第一項の規定を準用す、但し必要と認むるときは其の取引又は行爲に付制限を加ふることあるべし

土木局官制

第一條　土木局は民政部大臣の管理に屬し左の事項を掌る

一、道路に關する事項
二、河川の維持に關する事項
三、都邑計畫に關する事項
四、上水道及下水道に關する事項
五、公有水面に關する事項
六、土地收用に關する事項
七、その他土木に關する事項

第二條　民政部大臣は重要なる直轄土木工事の施行に關する事務を分掌せしむるため臨時に建設處を設くることを得

前項建設處の名稱、位置および管轄區域は民政部大臣これを定む

第三條　土木局に左の職員を置く

局長　一人　簡任
副局長　一人　簡任
處長　三人　簡任若くは薦任
理事官　四人　薦任
技正　四人　薦任
事務官　四人　薦任
技佐　九人　薦任
屬官　二七人　委任
技士　二七人　委任

第四條　局長は民政部大臣の指揮監督を受け局務を綜理し所屬官吏を指揮監督しその進退および賞罰に關し民政部大臣に上申し委任官以下はこれを專行す

第五條　副局長は局長を輔佐し局長事故あるときはその職務を代行す

第六條　處長は局長の命を承け處務を掌る

理事官および事務官は上司の命を承け事務を掌る

技正および技佐は上司の命を承け技術を掌る、屬官は上司の指揮を承け事務に從事す、技士は上司の指揮を承け技術に從事す

第七條　土木局に左の三處を置く

總務處
第一工務處
第二工務處

第八條　總務處は左の事項を掌る

一、機密に關する事項
二、官印の管守および文書に關する事項
三、企劃に關する事項
四、人事に關する事項
五、會計および庶務に關する事項
六、土地收用に關する事項
七、他處の主管に屬せざる事項

第九條　第一工務處は左の事項を掌る

一、直轄道路工事に關する事項
二、地方および公共道路工事に關する事項
三、その他道路に關する事項

第十條　第二工務處は左の事項を掌る

一、河川の維持に關する事項
二、防水工事に關する事項
三、公有水面に關する事項
四、都邑計畫に關する事項
五、上水道および下水道に關する事項

第十一條　土木局分科規程は民政部大臣之を定む

附　則

本令は康德四年一月一日より之を施行す國道局官制は之を廢止す

土木局官制理由書

現行道路その他の土木事業施行機關は中央および地方を通じ二元的にして支障多きに鑑み國道局および民政部土木司を合體して土木局とし、もつて土木行政機構を統一しその圓滑なる運用を期せんとす

廿八日附公布

諸法令

滿洲國政府において二十八日付をもつて公布する諸法令は左の如くである

一、國境地帶法部令（施行規則）
二、電氣通信事業特許規則
三、電氣通信施行規則
四、犯罪票處理規程の件
五、律師の認可手續に關する件
六、律師銓衡委員會章程規定の件
七、律師證書交付規則制定の件
八、律師名簿登錄規則制定の件
九、審判官、檢察官、書記官翻譯官制服制定の件
十、宮內府官制中改正の件
十一、宮內官々等俸給令改正の件
十二、陸軍軍醫處令
十三、陸軍衛生材料廠令

海外ニュース

リンテイ夫妻は二度と米國には歸らぬ

【エングルウツド「ニュージヤーシー州」國通】最近リンドバーグ大佐夫妻の許を訪れこのほど米國に歸つて來たアン夫人の母親モロウ未亡人は新聞記者に次のやうに語つた

夫婦は今のところ永久にアメリカには歸つて來ないでせう、親子三人今は非常に幸福な生活を送つて居り、夫婦共地味な英國での生活を悅んでゐます、若し歸るやうな心境になるとしてもさめてから餘程たゝなければ駄目でせう、次子ジョンはとても丈夫にすくすくと育つてゐます

アメリカも空の英雄にはすつかり見限られた形だ

イタリーの結婚難

【ローマ國通】イタリーではフアツシヨが政權を握つた一九二二年以來一九三五年末現在に至るまでに結婚率は三〇%も低下した、すなはち一九二二年に人口千人當り結婚率九六%だつたのが以下次のやうに低落の一歩を辿つてゐる

一九二三年　八・七%
一九二四年　七・九%
一九二五年　七・六%
一九三三年　六・九%

一九三四年になつて七・四%と一寸上つたが一九三五年にはまた六・七%に後戻りしてしまつた、結婚減少の理由としてイタリー新聞は國民間における晩婚の傾向を擧げてゐるが實際は民衆のお臺所元が依然相當窮乏してゐる證左であらう

ラヂオ

けふの番組

（M・T・O・Y 新京放送局）廿九日（火曜日）

朝

六、五〇　ラヂオ體操（東京）
七、一〇　氣象通報 入港船のお知らせ（大連）
七・一五　中等滿洲語講座 講師秩父固太郎（大連）
七・四〇　朝の音樂（大連）
八・三〇　經濟市況（東京）
九・四〇　經濟市況（大連、新京）
一〇・〇〇　家庭講座（大連）
一〇・二〇　料理獻立（哈爾賓）
一〇・三〇　家庭メモ
一〇・三五　經濟市況（大連）
一〇・四〇　經濟市況（東京）
一〇・五九　時報（東京）
一一・四〇　ニュース（東京、新京）

晝

〇、〇一　經濟市況（大連、新京）
〇、二〇　晝の演藝（レコード）
二・〇〇　經濟市況（大連、新京）
二・五〇　經濟市況（東京）
三・〇〇　ニュース（東京、新京）
三・三〇　經濟市況（大連、新京）
四・二〇　ニュース演藝（鮮語）
五・〇〇　子供の時間（東京）ラヂオスケツチ 忙しい年の暮 若葉童話劇團
五・二〇　コドモの新聞（東京）村岡花子
五・二五　實感放送ー歲末の間島、北鮮を巡りてー（圖們より中繼）アナウンサー美濃谷

夜

六、〇〇　ニュース（東京）ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
六、三〇　餘技の夕（京都）（大阪）（東京）未定

一、長唄　三浦環
二、箏曲　三味線 小野タケ子　小鼓 望月春之助　大鼓 望月高次郎　笛 望月豐三　箏 幸田延子　箏 安藤幸子　三絃 今井慶松
三、落語　廣澤虎造
四、漫才　徳山璉　三益愛子
五、めりやす　唄 飯田蝶子　三味線 吉川滿子
六、琵琶　下八川圭祐
七、二人漫談　春日とよ　杵屋佐吉

八・三〇　時報、ニュース（東京）ニュース、氣象通報、番組豫告（新京）
九・〇〇　滿洲歲末風景ところどころ（哈爾賓）ー哈爾賓郵局より中繼ー（新京）ー圖們國境より中繼ー（奉天）ー春日町の街頭及屋上より中繼ー（大連）ー大連驛より中繼ー
九・四〇　ニュス再放送
一〇・〇〇　北滿の時間（哈爾賓）

學藝

國都柳壇の設立に就いて

上倉泥柳

俳句と云ひ短歌と云ふ。又諷刺、洒脱而も泣き笑ひの人世萬般を詠みつくして川柳と云ふ。分野こそ區別されてゐるが一貫した文藝道には變りがない。生命のある限り人間の魂の思索は反復氷却に續く各個性に依り、各立場に於て人間は主觀的に客觀的に心の煩悶を何等かの形に於て發表しやうと欲求してやまない。そこに生活があると云つては間違ひであらうか。

又創作欲の貧困は文化の枯渇を意味する。強い反撥を求めて生活の伸張を願ふところに進歩がある。

玆に於て私達は川柳と云ふ形式を籍りて吾人の途上の思索を統一しやうとする。名附けて國都柳壇とした。

滿洲柳壇の現況は先般此の紙上に於て豚母生氏が示唆に富んだ一文を掲げて居たので、ここで新に復誦する必要を認めないと思ふが要するに大正末期から昭和初頭年間に於ける華々しい隆盛期に比し甚だ衰微の狀態を續けてゐる、之は滿洲事變と云ふ客觀的情勢がその一つの大きな原因をなしてゐることは疑ひがない。

だが尠くとも客觀的情勢は思索すべく移行して來てゐる、この事實は手短に新京日日新聞紙上に於ける俳句會、短歌會等活潑なる動きに看取出來よう。

動より靜へ、靜より靜中の動へ、この一般過程は今滿洲に於ても行はれつつあるのだ、既に奉天の蒼傘派の中堅宇和川木耳氏が川柳の全滿的飛躍を企圖して着々準備を進め新春早々その成果を發表するときく。同慶の至りである。

國境吟社の崩壞となつたが、余儀ない事情を以つて驍將同人諸兄の烈々たる闘志は何づれ何等かの形に於て奮起されるであらうし、又他の刺戟に依り積極的參加も考へられる。滿洲唯一且代表的柳社大連川柳社は沈滯氣味とは云へ今尙健在であり今日迄堂々と築き上げた格は何時たりも滿洲柳界指導の任に就き得るものと確信されて居る。其の他各地散在の先輩柳人の數も多く、隨所適時其の鋭鋒を表して居る。尙滿日柳壇の活躍は大先輩月南先生の指導を得て日に賑盛を極め幾多駿才の養成に異狀なる努力を見せてゐるのは、誠に喜ばしき限りである。

以上の現狀の中に私達は全滿の中心地たる新京の柳界の結果を當然のこととして企圖したわけであるが、勿論勝手な熱を吹く意讟は少しもない。

×　×　×

國都柳壇は知り合ひなたくり強く小範圍の同好の左記メンバーに依り初聲を上げたわけであるが、勿論他に柳人先輩多數國都在住を豫想してゐる機會を作ることが吾等の希望であつて、此の際積極的に多數參加を願ひ指導されることを期待してゐるわけである定款を設けて規則正しくやらうと思つたが、最初から規則的にやることは無理が多く却つて圓滿なる發達を阻害する懼れがあると思ふので、大體左の方法で至極自由な氣持をもつて進み漸次組織的なものに纏め上げたいと思つてゐるのである。

1、會合は當分の間行はず新京日日新聞社に發表すること一本で行く。

2、課題は新京日日新聞紙上に發表し、選者は大連の小林名八、奉天の石原青龍刀兩先生にお願ひす同人に指名委囑することあるべし。

3、會費は當分の間徵集せず、將來會合又は同人誌發行等の場合は隨時實費徵集の筈

4、投句は左記に於て取纏め手續を了したる後新聞社に送附發表す。
新京蔡光街滿日會館內　松屋春重

5、尙同人名簿を作るためその他足並を揃へるため同人申込を歡迎する。申込箇所は第四項の松屋氏宛の事

第一回は同人間の雜吟を募り來春一月十日頃發表する。故に大方諸賢の絕大なる贊同を得て各地柳壇に對抗し得る樣に氣勢を上げたいと希つてゐる。

×　×　×

大體以上で國都柳壇の設立を披露したわけであるが、勿論粗雜漠然たる誹をまぬがれないと思ふ。その點は今後追々各位と共に提携して改善し立派なものにしたいと思つてゐる。

最後に設立につき多大の便宜を取計つてくれ今後の御後援を約された新京日日新聞社の好意を謝すと共に、柳人各位の勞を多謝してペンを擱く。

〔メンバー〕

仁城萍綠。河野記作。吉川淸坊。廣松健二郎。吉田甲子森口一風。竹內虎夫。吉原井佐緒。松田醉羊。松尾小女郎上倉泥柳。

虹

櫻君夫

黄

わが母に禍事なかれ
夕燒の空は濁りて
ゆく鳥もなし―

綠

町廻りジンタも忙し
サーカスの
ピエロの帽子　色も褪せたり―

紅

寢返れる吾子の右手より
一粒の南天の實の
轉び落ちたり―

紫

バイロンの詩集に
絹の枝折など
はさみて與へし人逝ける
聞く―

白

世に拗ねて饒舌を好むか
の友は
能面に似し
顏せるも憂き―

青

思ひ多く見入れる海の
大きなるうねりに堪へず
石を投げやる―

淡金

歌ひつつ行く子供等の
影は見えず
朝の光は靄に滿ちたり―

師走のこころ

福島村路

餡汁や白妙の厨氷點下
短日やこの納豆を買へと云ふ
スチームより冬日が利いて醉ひにけり
しもやけの手の忙しき鋏かな
師走町足枷をして土匪の列
凍て月の庇の影や古都の情
スケートして來て靜かなる書齋かな
注連賣がことわりきれぬ口を利く
ボーナスや課長は滿人親日家
ゆく年のひつそりとして雨隣

クリスマスの紙笛

泉芳雄

奇妙な音たてて　のびるこの紙笛
童心のない悲しみが　又フッと吹かせる
黒ずんだ苦力の凍死體　クリスマスの
夜は紙笛で　この世　おくつてやる。
凍路に足で書く文字の　ハハと笑つて
男は　また紙笛を　吹きはじめる。
クリスマス　黄いろい蠟燭の光のもとで
女はタラシツクな微笑みをソツと泛ませる。
夜
オンナがくづれかゝる　このソツとはなれて　痴情のふくらみを
せゝら笑つてゐる。

正にスケート天下
今年は斷然旺ん
市中のリンクは連日超滿員
運動具店も大繁昌

單に競技界のみならず市民一般の冬季に於ける保健增進の目的をもつて今シーズンの國都スケート熱は異常な躍進振りを示してゐる、西公園をはじめ大同公園、協和會各分會等市中に散在する各リンクは連日押すな〳〵の盛況であるが、それに引きつれて運動具屋さんからスケートの賣れることも今年はレコード破りだ

全市では既に約四千五百個は出てゐるとのことであるが、昨年に比較するとシーズン半ばで早や追ひ越してゐるわけである、今年は特に協和會首都本部の積極的奬勵があつたため滿洲國人方面にも學校、官廳等三百、五百とまとまつて出て行くのが目立つてゐる然し運動具屋さんに言はせると今年は數量だけは相當なものだが、値段は一定標準がつけられて格安であり、また月賦等の便宜を計つたためにあまり芳しくない樣な話である然し何はともあれ滿洲の冬はスケートの天下だ、全滿諸都市に比して些か立遲れてゐると言はれる國都新京のスケート界が覇を稱へる日も間近いことであらう

陸上競技記錄
男女子三十八、四チーム發表

來るべき東洋體育大會或はオリンピック大會等國際競技場裡の進出に備へてひたすら國內體育の充實に勉めつゝある滿洲國體育聯盟では本年度から選手登錄制度を採用、またその記錄も最も正確を期してゐたが、今回本年度の陸上競技記錄を次の通り發表した

▽男子の部
百米、橋本左近（新京）十一秒三（西公園）
二百米、李志剛（新京）二二秒五（西公園）
四百米、于希渭（新京）五三秒四（西公園）
八百米、于希渭（同）一分五八秒（同）
千五百米、于希渭（同）四分一六秒六（同）
五千米、唐國士（奉天）一六分五一秒（奉天國際）
一萬米、李明實（安東）三六分二十秒四（安東）
高障碍、任允諧（新京）一七秒（西公園）
中障害、金潤一（安東）一分四秒七（安東）
四百繼走、中銀チーム（新京）四六秒六（西公園）
千六百繼走、奉天チーム、（奉天）三分五十秒（奉天）師範運動場
走高跳、徐文達（哈爾賓）カハンペイ（同）吉野谷吉高（同）一米七五（哈爾賓體育場）
走巾跳、林麗安（安東）山下宗（錦州）六米四五
三段跳、李洪金（安東）十三米四五（安東）
棒高跳、伊藤清八郎（錦州）任允諧（新京）三米四十（西公園）
砲丸投、アンフイノゲノフ（哈爾賓）十三米二三（西公園）
圓盤投、トルビン（哈爾賓）四三米二九（哈爾賓體育場）
鐵槌投、石橋哲夫（新京）二三米十八（南嶺）
槍投、マドリス（哈爾賓）五一米四六（南嶺）

△女子の部
六十米、張淑芳（錦州）八秒二（錦州）
百米、張德貞（龍江）一四秒二（チチハル）
八十米障碍、闞成英（奉天）一六秒一（奉天）
二百繼走、中銀チーム（新京）二八秒五（西公園）
四百繼走、安東チーム、五八秒七（安東）
走高跳、闞成英（奉天）一米三〇（國際）
走巾跳、李文儒（安東）四米六三（安東）
砲丸投、孔淑媛（安東）九米三五（安東）
圓盤投、孔淑媛（安東）二三米三七（南嶺）
槍投、邱鎭媛（安東）二七米五〇（安東）

"銀狐"消え失せる
丁子屋の店員をまいて入質
一足遲れ刑事連地團駄

暮の慌しい二十七日午前十時頃老松町丁子屋へ二十四、五の美青年がドアーを押して這入つて來て銀狐を一枚貰ひ度いとの事、店では良き客御參なれと高價な皮を出して見せた處一寸家まで持つて來て見せて呉れとの事で店員が三枚箱に入れてついて行つたところ入船町三丁目の本田方に寄り同品を奧に持ち込み、しばらくして出て來て店まで一緒に行くと箱を渡し同道で東一條通り戶板ビル附近迄來た時一寸待つて呉れと同ビルに這入つたが、いくらまつても出て來ないので店員は箱を持つて先に歸り、いまかいまかと待てど來ず午後二時半頃例の箱を開けて喫驚三枚入れた皮の中三百五十圓の銀狐が一匹消えてゐるではないか、すわ一大事とばかり新京署へ訴へ出たので新京署では時を移さず各方面に手配したところ何と浦屋質店に美女二人が來て六十圓入用だとの申込みをしたが、卅五圓だと云つたらそれでも宜いと卅五圓で入質していつた銀狐がそれらしいので調べて見ると丁子屋でも確かにこれらしいと云ふ刑事連遲かつたか、屆出がも少し早かつたらと地團駄ふんでゐたが犯人はめぼしがついたので目下嚴重搜査中である

驛貴賓室出入口
年內に竣工

新京驛貴賓專用出入口の工事は豫定より二三日遲れたが年內に竣工する意氣込みで晝夜兼行で工事を急いでゐる、寫眞は竣工を急ぐ貴賓出入口

科學的犯罪捜査
巨費を投じて續々新器購入
全滿一を誇る首都警廳監識科

首都警察廳監識科では今度經費約一萬圓をかけて各種の新機械を購入、治法廳廢を前にして同廳が誇る科學搜査陣はこれによつていよ〳〵充實強化され、無智な滿人犯人を精鋭な化學の力で面白い程捕へてやらうと言ふ先づ二千圓を投して買つたベルジョン式寫眞撮影機はフランス人が發明考案したもので價の示す通り仲々精密なもので些かの狂ひもなく指名犯人手配上調法なもの、次に紫外光線器はガンベ其他寶石類の鑑定に使はれる、更に價一千五百圓と言はれる精密寫眞機は其名の示す通り血液、指紋等微細で化學的なものを撮影して比較對照の上犯人を決定しやうと言ふもの、最後に珍しいのは犯人鑑別鏡といふ機械でこれは二重硝子で造られ鏡の兩面に被害者と犯人または主犯と共犯者を立たせて對決させるが犯人の姿はそのまゝ被害者または共犯者の前面鏡につうりどちらも姿の見へないないところから何等の脅威を受けることなくすら〳〵と一切が供述出來ると言つたものである、この科學陣の充實振りは全滿一と言はれてゐる

暮が越せんと
小心者發狂

上松富次（四十二）は郷里から來滿雜貨屋を營み吉野町市場で沼津園と號して店員五、六名も使つて一時は繁昌したが不景氣風に押されて少々出來た借金を苦にし悲觀し惱んでゐた揚句遂に精神に異狀を來し暴れ廻り、本月初め新京署に御厄介になつていくらか靜まり歸宅したので東七馬路に家を借りていたはつてゐたが、またまた暴れ出しストーブの掃除棒で妻のミネさんを追ひ廻し果ては頭に大疵を負はせ、ミネさんはとても堪へられんからと新京警署へ泣きこんで來たので領警署の骨折りで鐵道北に家を借りて當分監禁して靜養加療させることになつたが、ミネさんは一年中のかき入れ時にこの始末で泣くに泣けませんと云ひ領警署でも相手が氣狂ではともてあましてゐたが厄介な小心者である

通學列車を斷られ
始業時間又變更
一日から十時始り

既報、新京初等中等學校側では一月一日からの標準時改正に伴ふ始業時刻を午前九時半に意見一致し生徒、兒童にも言ひ渡されてゐた、その後問題とされてゐたのは列車通學生兒童二百二十數名が始業時刻に間に合ふやうな通學列車を公主嶺、新京間に運行してもらいたいと學校側から新京驛長を通じて奉天鐵道事務所に對して請願中であつたが滿鐵本社側では學務課とも懇談の上全滿初等中等學校の始業時刻は十時に決定してあるから新京の地區的始業時刻變更のためのダイヤ改正の要なしと一蹴された、そのため新京學校側では二十七日緊急協議を遂げた結果一旦午前九時半始りに決定したのを午前十時始めに變更したその代り男子側中等學校（商業、中學）だけは午前中僅か二時間しか授業出來ぬのでは面白くないので一月一杯は午前十時として二月からは午前九時半始りに變更する、なほ中學校、商業學校の晝食時刻は午後一時すぎになり各小學校でも晝食は正午すぎ一時ごろにあるはずである

明年度を期し全面的建設期へ
豫算三百五十九萬圓計上

「行政權移讓」と謂ふ大きな段階を迎へる特別市公署ではいよ〳〵康德四年度を期して全面的建設期に入るべく明年度豫算は經常部百三十一萬四千八十八圓、臨時部二百二十八萬二十六圓、總額三百五十九萬七千百十四圓を計上、廿八日民政部より認可指令に接したが、主なる新規事業は市廳舍新築、公會堂設置を初め次の通りで本格的躍進振りを示してゐる

一、市廳舍新築　總工費百五十萬圓を投じ二ケ年繼續事業として大同廣場の一角に建築されるが、明年度に於ては國庫補助卅七萬五千圓と同額の支出で施工、帝位御登極を永遠に記念せんとする公會堂建築も二ケ年繼續三百四十一萬圓計上

三、衞生方面では日本人傳染病患者隔離に要する經費を一萬圓增加計上、また街路清掃區域の擴大に伴ふ經費一萬一千六百圓を增加計上

四、なほ街路照明を全市域に亘り向上せしむる第一歩として一萬一千圓を增計、街路電燈の增加を企圖し

五、市民の福祉增進のため更に小賣市場二ケ所を增設すべく十二萬八千圓を計上、

六、市街整理の徹底を期するため舊國務院廳舍横手、大馬路事業として工事に着手するが數地及び設計細目具體案は目下作成中

二、社會事業關係に於ては救濟院の擴張に伴ふ經費四萬四千圓を計上、更に職業紹介所新設に要する經費を三千圓幹線路に沿ふ市有陋屋改築に十六萬圓を投ずる

など大建設に就かんとしてゐるが明年度の市公署は面目を一新するであらう

國婦通化分會結成

北部東邊道滿軍秋期大討伐の中心地通化にもこの程國婦分會が結成され銃後の花として活動を續けてゐる

早大氷上軍來京
一月十九日、廿日西公園で試合

內地氷上界の覇者早稻田大學スケートホッケー軍一行卅名は既報の通り明春一月を期して鮮滿遠征の途につき、各地に於て妙技を示すことゝ期待されてゐるが、新京には一月十九日午前七時三十五分着列車で來京、十九、二十の兩日に亘り西公園リンクにてホッケー並びにスピード試合を行ひ二十一日午前零時發列車でハルビンに向ふ

遊蕩三昧から
六千圓詐取

鹿兒島縣生れ喜入秀丸（三十二）は實業部林務司に雇として勤めてゐたが遊蕩三昧に耽り僅かの月給では思ふまゝに遊べぬところから惡心を起し役所に居る關係で知つた高利貸や土木屋に出鱈目を並べ返濟の意志も見込みもあるが如くに裝ひまたは土地を自己で世話し動かし得るが如き事を言葉巧にあやつつて六千余圓を詐取し料理屋方面に大盡遊びをしてゐた事が知れ新京警署に捕へられ目下取調べられてゐるが被害は廣範圍に亘り相當ある模樣である

武部關東局總長
三十日歸任

明年度關東局豫算案打合せにつき上京中の關東局總長武部六藏氏は三十日午後二時新京着列車にて歸京の豫定である

軍政部通信生
合格者發表

軍政部ではかねて第六期通信練習生を募集中であつたが、去る二十一日全國よりの受驗者四百名につき試驗の結果通信科五十名、機關科十名計六十名を採用に決定、二十八日附發表された

李交通相
郵局を訪問激勵

李交通部大臣は三十日午後一時半より三時まで新京郵局と頭道溝郵局を訪問して押寄せる年賀狀の大洪水に火の出るやうな活躍を續けてゐる局員を大いに激勵することゝなつた

連副總監
消防署巡視

第三期歳末特警に當り連副總監は二十七日午前十一時三十分、四滴街首都消防署に至り特警中の實施事項其他に關し聽取するところあつた

滿鐵事務局の御用納變更

滿鐵新京事務局の御用納めは三十日のところ二十九日午後四時に變更された

發車ホーム變更

二十九日午後九時十分新京驛發淸津ゆき列車に限つて第二ホームから發車する

政府御用納め

廿八日は滿洲國政府の御用納めで、各部に於ては所屬長官より訓示及答辭があつたが、民政部市政公署も午前十一時より大臣、市長の挨拶があつた、

歳末同情
週間寄附

歳末同情週間は一應去る二十四日を以て整理上締切つたが其後本市內窮民の實情を諒察せられて寄附の申込が續々とあり係員は感激してゐる、即ち福順厚、益發合、裕昌源より各三〇〇圓宛協和會首都本部長田邊治通王荊山より各一〇〇圓宛

交通バス
大晦日正月の業務

新京交通會社ではお正月用の買出しの御婦人や商用で馳けずり廻る番頭さんでバスのお客は倍加し、おまけに改正時刻の宣傳に全社員は日曜、祭日なしで業務に追はれてゐるが現場は無論大晦日、元旦と終夜運行し、事務關係も三十日まで執務、三十一日から三日まで休暇で四日から平常通り執務、元日は午前十時から拜賀式を擧行する

小林警部
交通安全協會基金寄附

新京署保安主任小林警部は故愛孃の忌明けに當る二十八日交通安全協會基金に金一封を寄贈した、國都交通が日と共に錯雜するに鑑みその事故防止安全を計ることは官民共に協力して努力す可きものであるとの見地より官民合同で交通安全協會なるものの設立が叫ばれ實現に着々進みつつあるが、これが實現までには相當基金も入ることゝて理解贊同者の寄附をまつてゐるが却々集まらぬ現況にあるので保安主任は先鞭の意味も加へて寄附したものである

新京署三氏昇進

新京署巡査長田武雄氏は愈よ二十九日から警部補として新京署で辣腕を振ふことになつたが氏は本年三月東京帝大を卒業し新京署に來たが在學中司法、行政兩試驗にパスしたといふ秀才でその前途は大いに期待されてゐる、なほ同時の卒業生小卷榮三氏和田正一郎氏も警部補に昇進小卷氏は奉天に和田氏は安東に轉勤して活躍することになつた

ブレンソーダ

西公園の檻の中にはいま四頭の熊公が飼はれてゐる▼うち二頭が雄で二頭が雌だから問題はなさそうに思へるが▼中の雌熊一頭は圖體が最も大きくて年長なるところからてんで雄熊を寄せつけず▼公園で期待してゐる子孫繁殖など思ひもよらず始終暴れ廻るので▼仔熊脫走ですつかり恐怖づいた當局では何時どんな事があつて市民に迷惑をかけても申譯けがないので▼近く銃殺にしやうといふ議が起つてゐる▲繁殖の用に立たぬから殺すといふことは一寸可愛想な氣がする▲殺さなくとも何とか當局の期待に添ふやうな方法は無いものか

范家屯區公示第十三號

昭和十二年四月當課所管范家屯尋常小學校第一學年ニ入學セシムヘキ兒童ノ保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ范家屯派出所ニ提出セラレ度

昭和十一年十二月二十五日
南滿洲鐵道株式會社新京事務局地方課長　田中弘之

記

一、入學兒童　自昭和五年四月二日至昭和六年四月一日出生者
一、入學申込書受付期間　自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日
一、入學申込書ニハ戶籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト
一、入學申込書ハ當課范家屯派出所ニ請求セラレ度

新京區公示第二八號
新京中間區公示第九號

昭和十二年四月當課所管小學校第一學年ニ入學セシムヘキ兒童ノ保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ新京事務局地方課學事係ニ提出セラレ度

昭和十一年十二月二十五日
南滿洲鐵道株式會社新京事務局地方課長　田中弘之

記

一、入學兒童　自昭和五年四月二日至昭和六年四月一日出生者
一、入學申込書受付期間　自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日
一、入學申込書ニハ戶籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト
一、入學申込書ハ新京事務局地方課學事係ニ請求セラレ度

妖魔往來（近日上映）

桃川燕二演　内山紅太郎畫

一四二

安井數馬には一言話したが、夜もふけてをります其儘お寢みになり、其翌日は當番、退がつて後又々數馬と色々談合してみたが、光五郎先生のいつた事は全くわかりません、次の日數馬は主計同道で光五郎先生の道場を尋ねる、スルト取次が

『えゝ先生はお留守でございます』

『左樣か折角參つたのに留守では仕方がない。然らば後刻再び出る』

『いえ後刻位ではお歸りになりません』

『ハテなそんな遠方へゆかれたのか、お行先は……』

『多分江戶表だらうと存じます』

『ナニ江戶表だ、正しく江戶へおいでか』

『サア、はつきりとは申しません、ダラウと申するので』

『夫程遠方へお出掛けならば行先も仰せがありさうなものだ、何で江戶と心得たのだ』

『御城下上河原田原屋の妾女が萬一家へ戾つてきたならば、早速江戶表、京橋南町津田三郎左衞門道場迄飛脚を遣はせとのおいひおきこれによつて江戶表へ出られました事と考へてゐるのでございます』

『フーン……』

主計も數馬もだしぬけだから聊か驚きましたが、師に出立後では致し方ない、然し田原屋の事が氣になる、其後油屋佐平を招いたり又は龜屋桜兵衛の處へいつたりして田原屋の樣子をきくが、光五郎先生のいつた通り怪物騷動が退散してしまつたのか、至つて平穩で何の不思議もございません、お雛も江戶へいつたきり何のたよりもない、然るに五左衞門の定命はつきたものか、まもなく六十七歳を一期としてお志津を始め親類縁者に取まかれ、ねむるが如く往生をとげたのでございます、表向はお志津が現れて以來、五左衞門は決して人を遠けなかつたので見舞の人引もきらぬ中での往生けれども、お雛の方へはしらせてやりたくても江戶のどこにゐるか分らずぜひ詮議をしてといふ程の考へもなかつた、これは此儘にして五左衞門の葬式をだしましたと同時五左衞門の遺言もあり、親類相談の上、油屋佐平方から座の三五郎を跡とり佐平が後見役、お志津が内部の事は一切やることにきめ、萬一お雛が戾つても田原屋の敷居から内へはいれぬ、佐平、五左衞門遺言の次第をきかせ、是は離縁として佐平が引うけ、そこで葬式をすましてしまつた、田原の方ではそれでよいやうなもの、數馬は胸安からず思ふのもむりはありません

『投平井の叔父上、手前事より小野先生は遠く江戶表迄出られました何分其儘果おくも本意でありません、手前病氣暇日限まだ幾らかはあります、是より江戶表に出向先生にあつてお話をしない內は安閑として上州へ歸れません、いかゞなもので』

『尤も千万、小野はあゝいふ人物、數馬お前の處より今日では自分の事としてゐる小野が江戶へ出向いたのは要するにお雛の詮議であらう、田原屋に怪物が出るのではなく、お雛の身に怪物が附纏つてゐるものとみて江戶へ乘出した事と思はれる、小野へ對する義理として江戶表へ赴くはよいが其許は決して殺人はならぬ、小野程の人物でさへ此怪物には惱まされてゐる形がある、其許なぞは其渦中に乘こむなぞとは命を棄にでるも同樣、間違ひがあつては安井の家にも關する、小野には一應の挨拶をのべて國許へ引取るがいゝ、此儀は呉々も申してをく』